

未減りぬるも
とらしきま

○ 是を居る属目録法

萬里文推

○ 万葉集の
のりつら

○ 補四季子部類大全

○ 万葉の
たる

○ 東京を

同の事

○ 又
とら



増補四季部類大全
陸奥と梁王と
家と
一句の
の先
数
其
其

四季の

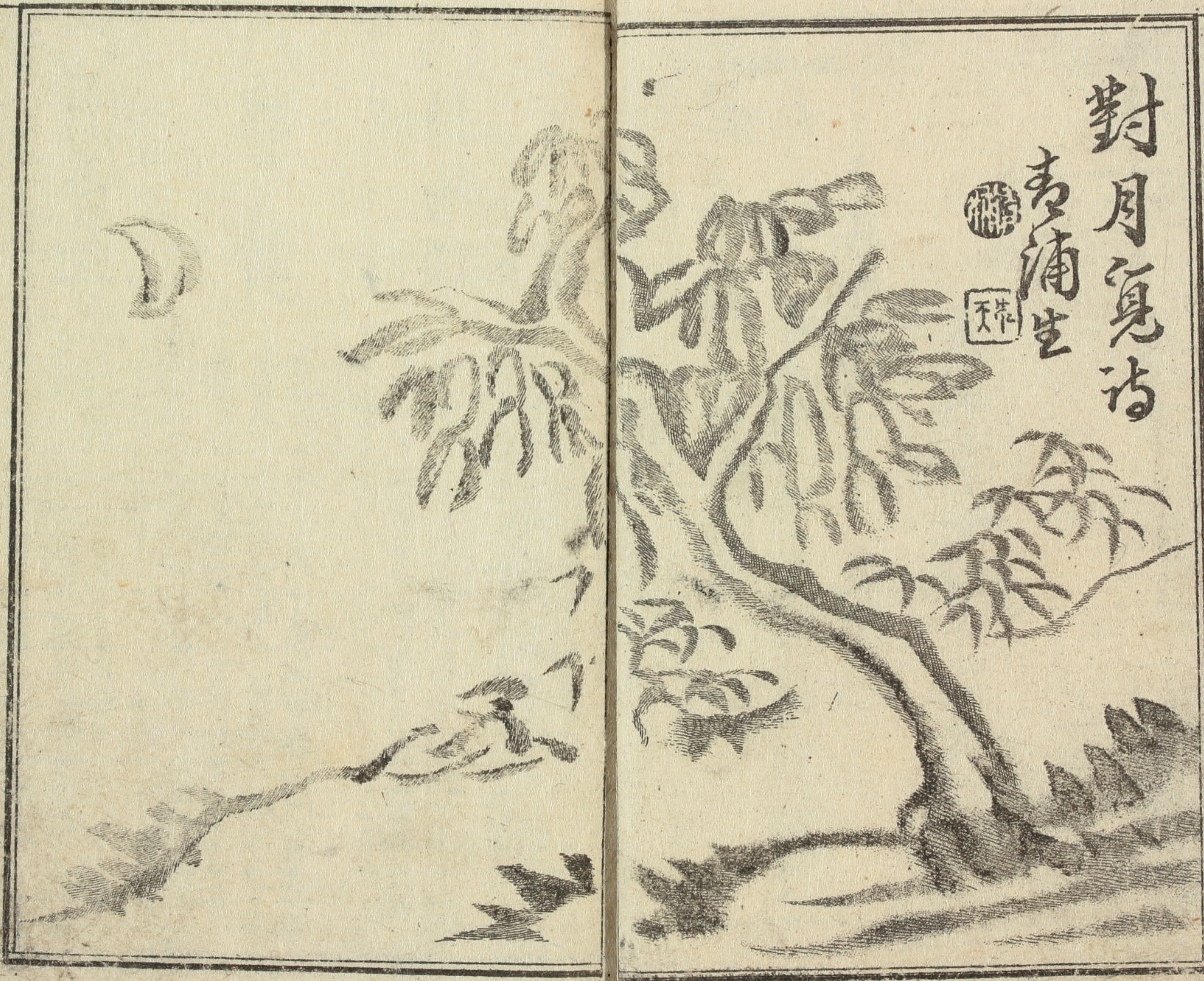
右也して邊土は若く男女の志なり
あるをこころをこふたものをもく社
友のまことしきまことせも小出考り
香しきを採りよあり「学社」を
る故書持のもしめは「言歌」の
時よまじりのの古田の法海のいふ
をあらうこころあり「之家」の

社匠の行ふあり他も志
れは準しきなり「自己」を採り
すゝのこころあり「之家」の

志は南風を採りて

對月寫詩

青浦生



○歳旦之詞

歳旦之詞 小用ひ来きる日 東物を何の
免て世初年 阿くまは

○乾 坤

天の降物 風 雨 少 敷 水 道 時 候 人 事 亦
悉く此終に ねむりて 日月よきもの
ハ 毎終一 其 所 事 こと なる 喜 ぶ に 阿くまは
ゆのい ちを 何て 分り 毎終これ 唯
は 一

○植物類

草木 花 草 竹 木 何れ 亦 喜 ぶ 亦 阿くまは
亦 喜 ぶ 何れ 亦 喜 ぶ 何れ 亦 喜 ぶ 何れ 亦 喜 ぶ
阿くまは

○生 類

畜 獸 鳥 虫 魚 介 亦 喜 ぶ 亦 阿くまは
亦 喜 ぶ 何れ 亦 喜 ぶ 何れ 亦 喜 ぶ 何れ 亦 喜 ぶ
阿くまは

○衣 食 類

衣 類 飲 食 亦 喜 ぶ 亦 阿くまは
衣 類 飲 食 亦 喜 ぶ 亦 阿くまは
阿くまは

○神 釋

神 事 仙 子 亦 喜 ぶ 亦 阿くまは
神 事 仙 子 亦 喜 ぶ 亦 阿くまは
阿くまは

○公 事 故 変


古 来 利 用 して 亦 喜 ぶ 亦 阿くまは
古 来 利 用 して 亦 喜 ぶ 亦 阿くまは
阿くまは

○歳 末 之 詞

歳 末 之 詞 亦 喜 ぶ 亦 阿くまは
歳 末 之 詞 亦 喜 ぶ 亦 阿くまは
阿くまは

○ 懷 紙 句 式 十 二 法 裁 舉 并 初 心 の 爲 由 り 之 行 なる 人 事 亦 喜 ぶ 亦 阿くまは
授 等 裁 之 こと 附 録 之 也

春

雞旦	正朔	元旦	元旦		歲旦之詞	正月	春
改旦	歲朝	元朝	日		乾	坤	四月

夏

立	仲呂	新夏	孟夏	梅月	卯月	乾	坤	四月	夏
復	青和	早夏	首夏	とこし八月	おむ月	乾	坤	七月	秋

秋

秋	立	孟秋	素秋	涼月	女郎月	乾	坤	七月	秋
秋	秋	上秋	蘭秋	夷則	兼月	乾	坤	十月	冬

冬

小	立	孟冬	神無月	しんき月	神無月	乾	坤	十月	冬
小	立	上冬	神無月	神無月	神無月	乾	坤	十一月	春

○

頌美

去々菊乃
 黄まきそをあらし
 夜明けうす



▲正月 歳旦 ▲四月 乾坤 ▲七月 乾坤 ▲十月 乾坤

聖節	東君	新春	三元	歳首	上且	立春	春之り	初鶏	初明	明は春	あさは春	あさは春	あさは春
小満	梅天	和清天	紅花くぼ	短夜	明やほき	大矢敷		松前渡り	蚊帳	汗手拭	扇	團扇	扇
今朝は秋	来る秋	初秋	早秋	残暑	秋は初風	初嵐	身ふたむ	新涼	稲妻	初月	花日火	七日節句	七夕
應鐘	下元 十五日	亥は子	時雨	初時雨	小川音は時雨	川音は時雨	川音は時雨	初雪	初霜	初氷	冬さき	冬籠	冬構

初空	初鶏	初明	明は春	あさは春	あさは春	あさは春	あさは春	四方のま	初空	年頭	三は初	三は初	日比初	年比初
松前渡り	蚊帳	汗手拭	扇	團扇	扇	扇	扇	此下夏三月小	蚊帳	汗手拭	扇	扇	扇	扇
新涼	稲妻	初月	花日火	七日節句	七夕	七夕	七夕	初雪	初霜	初氷	冬さき	冬籠	冬構	

春 復 秋 冬 ○二

正 歳旦 四 乾坤 七 乾坤 十 乾坤

ちろとー

改年

何く玉の事

何く玉の事
何く玉の月

むらふ年

新年

あ〜とー
とー

あきき

とー立

めるとー

○座うちハ
○字記を 終え

日傘

編笠

ふせり干

植物類

牡丹

不〜ん
ふ〜ん

名とり草
たろう草

富貴草
色の王

芍薬

えいばあ
花の幸ね

燕子花

かきつばた
の白と花

花の君

ギョウのむ

美人草

葵

かきつばた
ニ葉草

もろを草

立葵

織女

牽牛

二星合

天の川

昭河

参星
大角星

星々
星のちきり
星まがり

星をり
たあつ

ち〜り
あ〜ら
不〜

百子娘
薫娘

握のつよめ
秋さり娘

男た〜ら
女〜ら

と〜つま
秋さる衣

秋の糸
と〜の夜

は〜ら
つ〜ら

秋



小念〜

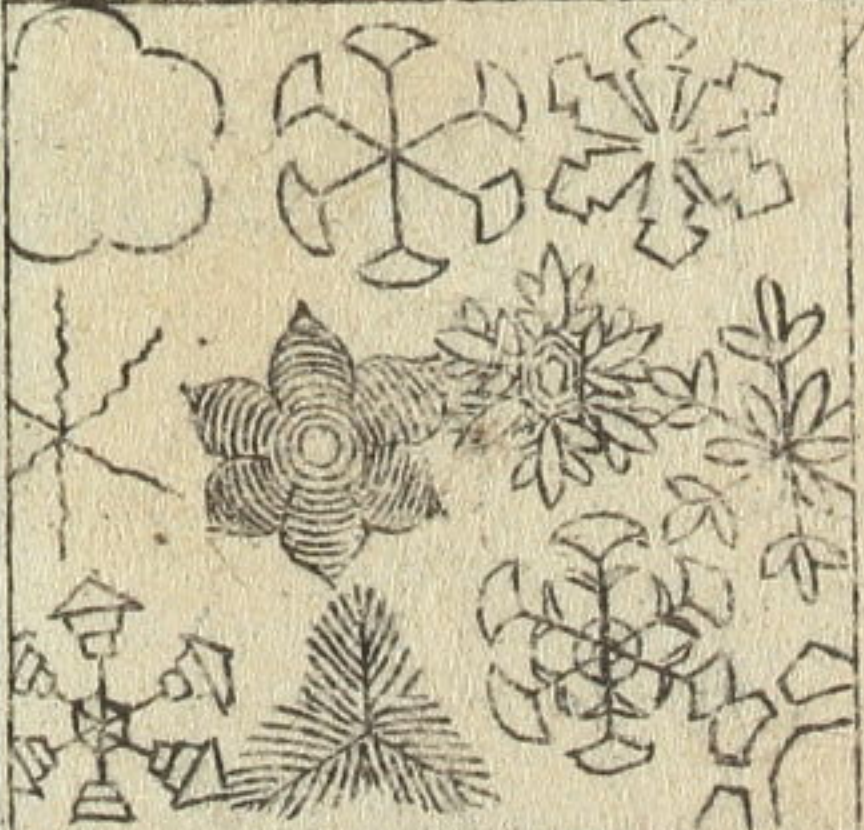
爐開

火燧切ル

あ〜ら

此下冬〜

雪



霜

氷

雪

雪

雪

雪

雪

雪

雪

雪

雪

冬 〇三

正 歳旦 四 植物 七 乾坤 十 乾坤

屠 とるぎ

若 夷

庭 竈

年 男

若 水

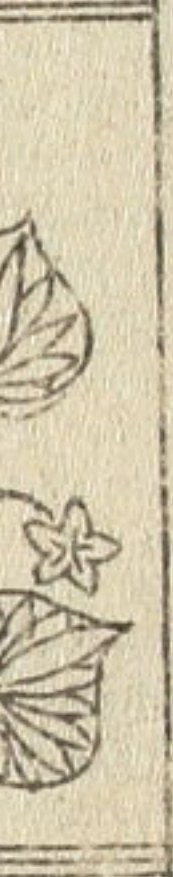
井 忍 くさ

つ み井 井 井 井 水

初 手 水

御 降

歳 德



小 あ あ あ あ

麥 刈

麥 刈

茶 挽草

著 莪

一 八



著 莪

紫 蘭

風 車

夏 枯草

う つ 不 草

千 日 紅

山 ち さ は な さ

皆 は 花 茎

若 根

か さ き の え

乞 何 尊 乞 乃 針

天 の 名 の 七 種 の 舟

七 箇 の 舟 百 箇 の 舟

硯 洗 ひ

机 あ ら ひ

七 夕 鞠



中 元 十五 日

盆 衝 突 入

踊 扇 置

團 扇 置

生 身 魂



二 百 十 日

處 暑

さ も き の 形

法 め た き

さ 申 形

鐘

月

冬 は 月

山 眠 ル

塗 炉 縁

巨 燧

埋 火

困 爐 裏

火 鉢

火 桶

捐 不 の 火

手 爐

手 阿 り

懐

春 夏 秋 冬 ○四

▲正 歳且 ▲四 植物 ▲七 乾坤 ▲十 乾坤

福藁	かさり炭	飴海老	いせ海老	掛むしろ	楪葉	狝子	齒	梅	うら白
----	------	-----	------	------	----	----	---	---	-----

天蓼	志のね	蓮花	蓮花	蓮花	蓮花	蓮花	蓮花	蓮花	蓮花
----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----

相撲	龍田姫	露	露	露	露	露	露	露	露
----	-----	---	---	---	---	---	---	---	---

湯婆	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

掛鯛	若餅	鏡餅	もちろり	大箸	雑煮	かん	大ぬく	磨	春
----	----	----	------	----	----	----	-----	---	---

文字榴草	石	鳴足	藺	藺	藺	藺	藺	藺	夏
------	---	----	---	---	---	---	---	---	---

川	秋風	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	冬
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

春 夏 秋 冬 ○五

▲正 歳旦 ▲四 植物 ▲七 植物 ▲十 植物

藜子

慮陀草

波申とり草

木の葉時雨

齒固

王卷芭蕉

一葉一葉夜

木葉時雨

喰精

王卷葛

桐

木葉雨

蓬菜

鷹爪

桐

木葉雨

ひりかじ

下毛

柳

茶の花

りやうちん

山毛

柳

茶の花

どころ

覆盆子

楓

山茶の花

ふろ

木

木

復花

いっし

木

栴

朽葉

種 俵

若葉

櫨

かへり

田

若葉花

楸

冬木の櫻

小殿原

余花

木瓜の實

室

俵子

若葉紅葉

槐の花

枯柳

科

若楓

常木花

枇杷の花

數

新樹

桃

八手花

豆

木下閣

は川免

柗花

午房

葉

蒲

樞花

春

夏

秋

冬

▲正 歳旦 ▲四 植物 ▲七 植物 ▲十 植物

むらび昆布

丹 荷

伸 鮎

七依の記よえら
不用ひくくろの青
鮎、子、奥、とて年
の始不用申る奥
あり

腹 赤

旅赤の執ハ鮎を
いふはやこましと
て築紫、ウリ、ナリ、し
を香ハ、美、妙、し、ふ
供、わ、ら、ふ、や、是、の、の
む、は、同、義

福 壽 草

ふくろう草
えりしよ

四 方 拜

星をととなふ

は 柳

七 曜 御 曆

氷 の 様

氷の横とい毎
氷をよおさめた
る氷の厚さ落
をこまらふ赤
て甘くめしとて
不尾のまをまると

春

葉 柳

葉 櫻

櫻 實

卯 花

ウツキの草
まど祢打木
岩く卯木
卯をの草

桐 の 花

茨 の 花

まうの草

牛 棘

薔 薇



花 柚

手 更 の 花

白 丁 花

柿 の 花

栗 要 花

桜 櫛 の 花

夏

あびく

薺

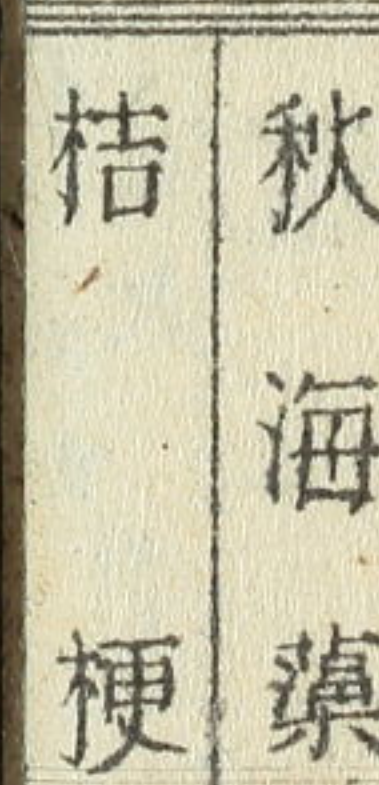
蘭

りに
あぶぎ

ふちをう海

燕 尾 香

秋 海 藻



きちりゅう

女 郎 花

男 へ

おぼとりのを

芭 蕉

施 覆 花

鼠 尾 草

水うけ草



秋

紅 葉 散

冬 牡 丹

草 的 系

枯 尾 花

あまのり

萩 みるく

葛 みるく

萩 みるく

ゆききの下

石 路 の 花

麥 時

蕎 麥 苳

蕪

大 根 引

以下冬三月
まてふか

冬 木 立

枯 木 立
維

水 仙

冬 〇七

國栖奏



小朝拜

朝拜

院の拜禮

懸想文

千壽万歳

萬 戈

大黒舞

猿 曳

春 駒

鳥追

をひ

熾り

毬打



菽つらぎ

厚朴花



青木ノ花

黄縷ノ花

岩 梨

岩 藤

常盤木落葉

茂り

柑子ノ花

蜜柑ノ花

金柑ノ花

梅ノ花

九年母花

枳殼ノ花

菽

五味子

観音草

薬師草

仙翁花

鳳仙花

つまろ



寒 菊

枯 柳

葱

胡椒引

鶯子啼

氷 魚

鱈

鱈

河豚

牡蛎

生海鼠

水鳥

浮寐鳥

春

夏

秋

冬 八

正 歳旦 四 植物 七 植物 十 生類

玉打

破 广 弓

たしまゝ矢

手 おりつゝ

やりをた

たね板
たねおのふ

まき板
まきおのふ

きそをゆめ

ひめをゆめ

馬 乘 初

弓は 一 先

藏 糸 一 ぎ

船 乘 初

松 雑 子

うゝお初
舞 初

吉 書 初

玄 神
筆をく免

筆をく免
筆をく免

試 毫

宝 引

春

雲州橋の花

笋

たんざん
さくらね

篠 ノ 子

綿 時

豆 植 ル

此下
たな三
まき

復 木 立

青 山 椒

露

蓼

茗

葱

草

芋

菜

めをん

海 松



夏



解 復 草

益 母 草

めをん
まき

曼珠沙花

まき
まき

ろこ人をな

すまひま

茗荷の花

蓮 実 飛

夕 顔 の 實

青 瓢 箆

青 糸 心

星 草

穀 粒 系



栗 孔 穂

稲 葉

秋

こいさ
雑

鴨

鴨

まか
小鴨

さき
鴨

眼
黒鴨

沉 鳧

あぢむら

阿ぢの村

千 鳥

川 子 鳥

小 秋 ち どり

浦 子 鳥

傍 ち どり

子 鳥 に

花 鶯

赤 木 鶯

赤 木 鶯

鶯

冬 〇九

▲正 歳旦 ▲四 生類 ▲七 植物 ▲十 生類

福引

餅の二字を名を福
生果といふ故に餅
を福と云ふ事
とて餅を三人しり引
何れが餅を引るといふ
引事の時はおぼろげ

みそあめ
うきこり

虫類

郭公

山時鳥
不始呼

日中田長
とて

秋の
皆さる

おとこふまむ
さき 幾月
もまびて
あかり

鷹あや入

かんの鳥

行々子

よき系
よ切

鶯附子

老鶯

乱鶯

蝙蝠

か
あり
蚊喰

飛蟻

蜘蛛子

睦月

三々日

今々年

去年

水祝ひ

あ
あびを

幸籠

幸木

春

夏

秋

冬

いともしき

室は早

稲花

とて
おの

早稲

豆の
子田の
棉糸

なた豆

隠元豆

西瓜

陰瓜

南瓜

あ
あ
う
不
ち
や

渋柿

此下
三月
秋は
ま

野菊

蕙

は
き
萩

萩の上
風

芒

茶口切

炙子餅

衣食類



あ
あ
あ
ら
木




炙子餅

茶口切

冬

正 乾坤 四 生類 七 植物 十 衣食

六日年越	卯つき	栗杖	子母抱	初子の日	初芝居	孟春	青陽	大帥月	むの月
螢	以下復三月は まじる	鹿形袋角	うつろほ	初鰹	かきめの子	蚕	蚯	枝	・木の栄 蛙
辨慶草	唐		志のふ草	草	鬼	草	鬼	草	糸をきき 志のきき 一とすきき 蒼羽をきき
ふくとけ	鱈汁	之き大根	之き菜	之き菜	之き菜	切	切	干大根釣	干蕪釣

人日 七日	七日正月	御連歌 十一日	十四日年越	上元 十五日	え夜	え夜	え夕	粥杖 月	う申の本 う申をり	注連孔内
蝸 午	かきむり		蛭	蛭	蠅	蠅	蠅	蚊	蚊	蚊
茅 萱	小かや	かや前	かやうち	犬子草	若	若	若	若	若	若
塩 鱈	海炭 腸	貝 焼	納豆汁	蕎麥湯	ふろ吹大根	頭巾	丸づき	丸づき	丸づき	丸づき

春
夏
秋
冬
○十一

正

乾坤

生類

植物

衣履

やぶ入

綱曳

左義長

とんど



吉書上ル

廿日正月

ふね正月

棚卸

帳とぢ

舞御覧

傀儡師

春永

余寒

春寒

冴ゆ

凍解

春

蚤

蛙

子

無

水

うつ

青

青

鷺



通シ鴨

翡翠

鶉飼

鶉

鶉

鶉

鶉

鶉

鶉

鶉

夏

午房引

糸

冬

芋

紫

小芋

暮

平

ぬ

琉球芋

真葛

葛

葛

鷹

鷹

鳥屋

鷹

鷹

鷹

秋

皮足併

紙

綿

布子

綿

綿

綿

蒲

衾

厚

敷

小

紙

古

鴛

鴛

神

神

冬

正 乾坤 衣食 七 生類 神歌

凍かゝる

氷 解

おながの
おのむき

残ル 氷

こそれお

残 雪

春 残 雪

名 残 の 雪

淡 雪

雪 解

あまのけあ
あまの布

あまのあ
あまのち

あまのあ
あまの汁

雨 水

此下春三月

霞

あまのあ
あまの衣

あまのあ
あまの衣

あまのあ
あまの衣

あまのあ
あまの衣

春



水 鱧

水 鱧

魚 鱧

やあ打

衣 食 衣

更 衣

初 裕

あまのあ
あまの布

あまのあ
あまの布

あまのあ
あまの布

あまのあ
あまの布

あまのあ
あまの布

あまのあ
あまの布

あまのあ
あまの布

あまのあ
あまの布

あまのあ
あまの布

あまのあ
あまの布

夏

初 鷹

初 鷹

初 鷹

鷹 祭 鳥

十六日

鷹 祭 鳥

鷹 祭 鳥

鷹 祭 鳥

鷹 祭 鳥

鷹 祭 鳥

鷹 祭 鳥

鷹 祭 鳥

鷹 祭 鳥

鷹 祭 鳥

鷹 祭 鳥

鷹 祭 鳥

鷹 祭 鳥

鷹 祭 鳥

鷹 祭 鳥

秋

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

神 祀 旅

冬

正 乾坤 四 衣食 七 生類 十 神祇

鐘霞	長閑	嚴 <small>ウツカ</small>	糸申 <small>いとほし</small>	陽炎 <small>カゲノヒ</small>	暖 <small>アツカ</small>	水ぬるむ	水日
新麥	新 <small>新切飯</small> 雜 <small>雑</small>	冷汁	煮冷	蟹 <small>かに</small> ひ <small>ひ</small> と	干鱧	干鰯	干鰯
きんぎょ		電馬	蜻蛉 <small>せみ</small>	促織 <small>オビ</small>	蜻蛉	蜻蛉	冬蝻
孟冬ノ旬一日	天子南殿 <small>ミナミノミヤ</small> 出御 <small>デツミコト</small> あり	御 <small>ミコト</small> 玄猪 <small>ウツス</small>	残菊ノ宴 <small>ノノヒ</small> 五日	先祖ノ墓 <small>イハサネノカミ</small> へ 掃 <small>ハラヘ</small> と	射場 <small>イハ</small> 初五日	天子 <small>ミコ</small> 弓場 <small>ユミバ</small> あり	天子 <small>ミコ</small> 御 <small>ミコト</small> あり

遅日	佐保姫	春色	山笑	東風	春風	春光	春霞
干鳥賊	塩鳥賊	風爐 <small>かまど</small> 茶	神 <small>カミ</small> 秋	筑摩祭	秋蟬	我 <small>われ</small> 鳴	冬
稲虫	蜻蛉	蜻蛉	蜻蛉	蜻蛉	蜻蛉	蜻蛉	冬
先祖ノ墓 <small>イハサネノカミ</small> へ 掃 <small>ハラヘ</small> と	射場 <small>イハ</small> 初五日	天子 <small>ミコ</small> 弓場 <small>ユミバ</small> あり	天子 <small>ミコ</small> 御 <small>ミコト</small> あり	天子 <small>ミコ</small> 御 <small>ミコト</small> あり	天子 <small>ミコ</small> 御 <small>ミコト</small> あり	天子 <small>ミコ</small> 御 <small>ミコト</small> あり	天子 <small>ミコ</small> 御 <small>ミコト</small> あり

冬 ○十四

いものくしれ

水入 菜

水菜

ふ代み菜

魚つむ

根白 草

せり

嫁

嫁がはぎ

ねむき 搗

鶯 菜

萱宮 祭

午 中

御影 祭

日 中

みあまのり

うきのある

國 祭

日 中

山王 祭

日 中

葵 祭

日 中

あふひ車

あふひくづ

日けり

日けり

御形

もろくろ

上加茂御起下賀茂
別當神の祭

撫

鷹

青

鷹

三式ニテ易ヲ
モロカワカント云フ

綱掛 鳥

鳩 吹

鳩人のまきき
てまど合まて溜の
声のやうに吹なぐ
ふすこ是をとき
ぬる鷹をよる
このとも云フ

鶉

鶉

鶉

片うつりのまね
依りて居るを云ふ

鳴

うい

川原

鳴の羽盛

百舌 鳥

鳴のまやみん

鳴のまきき

鶉のまききといち
やうくをいふまや
賛といふものま
董あつさるむ

董あつさるむ

雪

雪

雪

雪

雪

雪

雪

雪

雪

雪

女

雪

雪

雪

雪

雪

雪

雪

雪

雪



雪は取越えて雪
をけ付谷をもち
て是をけりる是は
春の正なりといふ
はよにいす

雪

雪

雪

佛

春

下 薑 藥 土 鶯子若葉 露のたう ぶきの免 若 若

夏

アル説は祭ト分リ
云ハ賀茂ノマツリ
ナリカモヨリテ無
名ノ祭ヲ夏トス神
ハ四月朔日ニトツテ
レヨニヤニサレケ

秋

秋 鶉 鶉 鶉 鶉 鶉 鶉 鶉 鶉 鶉

冬

冬 雪 雪 雪 雪 雪 雪 雪 雪 雪

川柳 川柳

玉折 志こう柳

門の柳 めも柳

あゆ柳 とも柳

神あ柳 柳

椿

玉つしき いせつしき

白まつしき 飛入まつしき

野老 堀



山葵

蕨 姑

鳥 芋

芭 芋

くちさき くらさき

獨活

みつんせり

春

練供養 曹

神衣祭 伊

土塔祭 十音 天寺

千團子 十二音 三井寺

日光祭 十七音

和哥祭 同

花供 昔 高野

大砂の衣を板替 する

安下夏三月 居

結夏 夏

夏花

夏種 夏 夏

夏行



夏行ハ即安居ナリ安 居ハ出家修行ノ暇ヲ 得テ私ニ住ス故ニ安 居間他ノ化益ヲ専ラ ニ勤テ三思萬善等ニ

夏

芋む

案山子

鳥おと

添水

引板

鳴

焼帛

鎌帛

秋の狩場

刺鯖



蓮のめ

朝茶の湯

焼米

あつむき

秋

新生姜

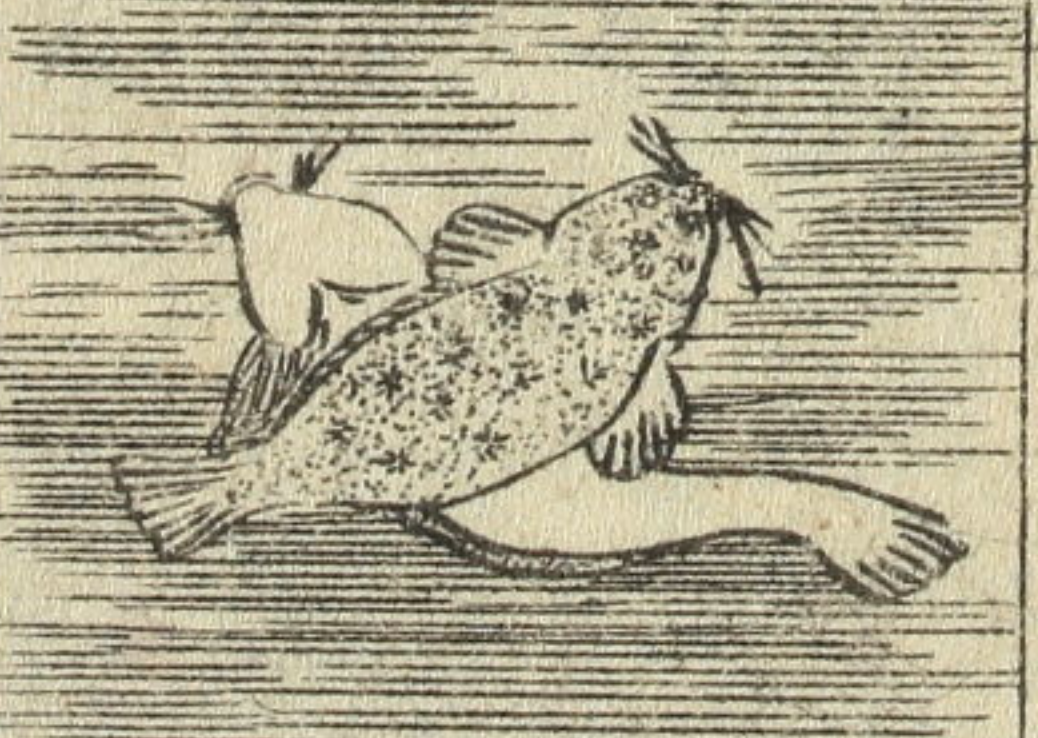
ぬくめとろ

寒苦鳥

寒苦鳥

寒苦鳥ト云鳥雪山ニ 住テ寒サヲ苦シク 鳴ク寒サ責メ夜明 小作種又昼ナリ小 巴今ハ不知死明日不 知死故造作極安ヲ 此常身といフ

杜父魚



鯨

くちさき

あつむき

鯨

冬 十八

雜菜摘

防風

山みどり

山みどり



猫の戀

つと猫

白魚

ぬる麦

踊衣俗

踊帷子

のふ衣

神紙

北野御手洗

同社媒拂

池坊立花

本願寺立花

同燈籠

冬下冬三月

鷹狩

鷹野

大鷹

は鷹

兄鷹

弟鷹

鷹匠

魚氷ニ上ル

瀬魚ヲ祭

此下事三月

百千鳥

鶯

白ひどり

徑

黄名

黄名

黄名

春

皐月

皐月

皐月

皐月

皐月

皐月

皐月

皐月

皐月

皐月

夏



文殊會

六道参

清水千日詣

施餓鬼

撰待

門茶

秋

狩場ハ鳥

狩場の雉子

追鳥狩

狩杖

列卒繩

鷹犬

ぬまて立鳥

多きけひ

鳥立草

鳥落草

冬 〇十九

鶴孔庖丁



芒種

植物類

菖蒲茸

蓬茸

阿ふちや

あやもえ引

あやもえのり
糸きり松

あふちや佩

六日菖蒲

菖蒲湯

彩の燈籠
きりこ

まがり
灯籠

焰六参

三井寺女詣
十五日

安居頭
や父

大文字火
山



鳥居火
ゴアタ

生姜酒

神秋

甲子祭

相嘗祭
上

宗像祭
同

筑紫の初詣の社
のちやう

三島西の市
中

北祭
下西
カモ

日土臨時祭
申中

鶴祭
下ノ
トリ

梅花衣

此下
三月
三月
三月

干鱈

酢蛤

木ノ芽漬

山椒皮

鹿尾

海

若和布

春

蘭湯

宗祇抄
二日
キソヒカ
リ
スルト
八四
五月
景宗
狩ト
テスル
ス

競駢

藥草煎

兼子法

草合

百子
のり
のり

夏

妙法乃火
崎
松ヶ

船の火舟
両

水燈會
十六日
黄バク



宇治黄粟山
浮二
百
六十
ヶ
燈ラ
宇治
川
驢
流
遂
風
テ
散
乱
シ
恰
若
強
火
其
灯
以
台
紙
造
小
蓮
内
二
堅
苾

秋

吹革祭
八日

鉢叩

空也忌
十三日

道陸神
十六日
天王寺

空也忌
十三日

道陸神
十六日
天王寺



冬

正 神祇 ▲五 植物 ▲七 神祇 ▲十一 神祇

海 苔

蓬 苜

經木流日六

祭日村童...

あまのり

花のり

岩倉燈籠踊

祭日村童...

あまのり

真菰苜

長谷燈籠踊

祭日村童...

加田の里

田 植

松ヶ崎題目踊

祭日村童...

神 祇

田 植

御靈御出日十八

祭日村童...

祇園削掛元朝

田 植

文覺忌

祭日村童...

えの寅の二天は祇園

田 植

地藏祭

祭日村童...

けづりうけとあま

田 植

六齋念佛日

祭日村童...

ふく籍考のたあま

田 植

あゝこ火

祭日村童...

紀事云晦王子ノ如

川 育

御射山祭日七

祭日村童...

余詣令愁ヒ而

藻 苜

逆乃峯入

祭日村童...

付言他人服疾

藻 苜

公事改夏

祭日村童...

如ク子争之又長

藻 苜

相撲使

祭日村童...

ク足懺悔儀而

藻 苜

相撲使

祭日村童...

勸善懲惡ノ微

藻 苜

相撲使

祭日村童...

惡ノ微意總州千

藻 苜

相撲使

祭日村童...

葉ニ笑ヒ亦此ル

藻 苜

相撲使

祭日村童...

十リ

藻 苜

相撲使

祭日村童...

毘沙門功德經日

藻 苜

相撲使

祭日村童...

船玉祭二日

藻 苜

相撲使

祭日村童...

天狗宴日

藻 苜

相撲使

祭日村童...

春

夏

秋

冬

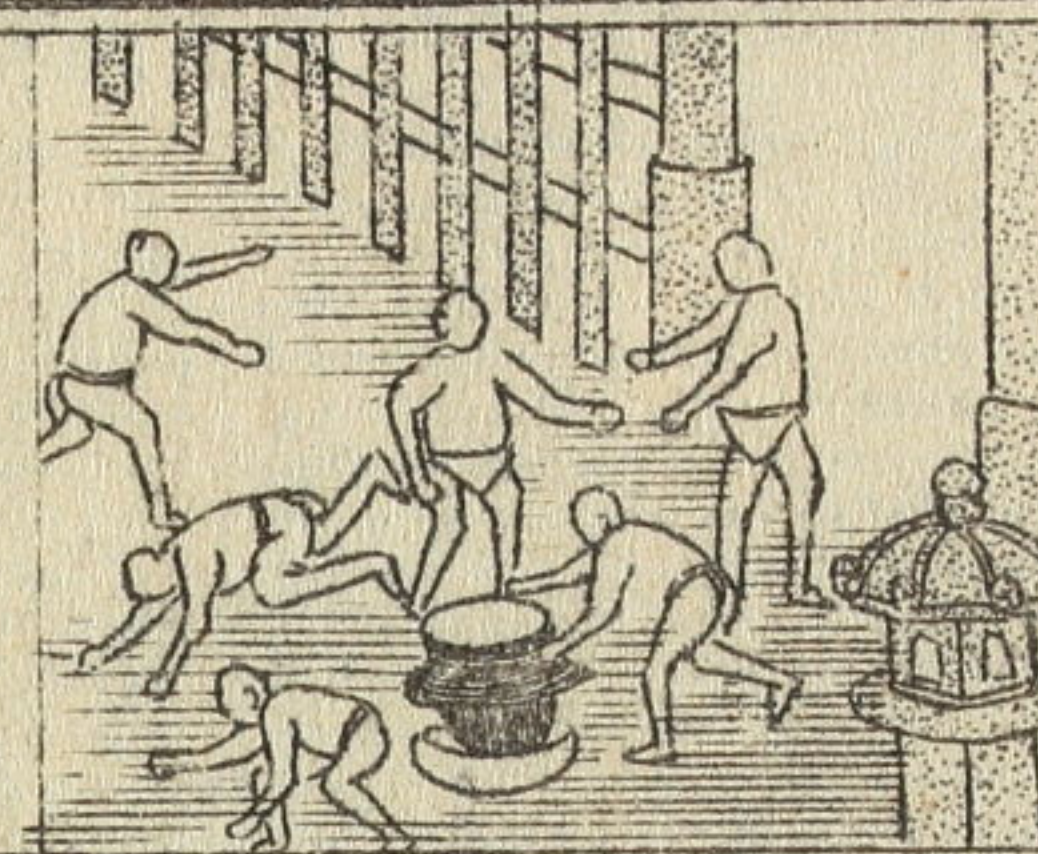
〇二十二



正 神祇 ▲五 植物 ▲八 乾坤 ▲十一 神祇

箕面富七

玉セリ



初寅余クラ
番おろし

紀事ニ云正月
初午日師

藪首蒲

紅花

赤つむぎ

鉄線花

忘草の花

くまん



紫陽花

葉月

十月 秋風月

月見樹目

丁末 柳

檜 杉

深 杉

八 朔

田 面祝

田の實いまい
たのむの日

繪 行 器

千歳

早うた

採物

枝

弓

はこ

斤折

諸阿弥

有ハ手に取ぬの
おまハとりおま

大前張

さいわり
二三入

抱ふりて
たにたて

おれりとり
おなの

おきこて

小前張

あもま

あけま

い

大ミヤ

冬 ○二十三

馬寺ニ詣是
初午參ト云
鞍馬近馬往
選路辺ノ西
山岸ニ高構小
樓ヲ自其内著
繩下貫路辺糸
詣ノ男女有欲
求燧石者則幼
裁普トキハ此所
著之繩渡上之
志其錢ノ多少
而入辨石再下
之是謂蕘下

鴛かへ七日

住吉初卯

春

あづさの
はむしのを

百合花

さゆり

さゆり

さゆり

鬼申り

光り草

雪ノ下花

朝露草

草石蚕

夏



てい先をのこ
て米をむる
あどにむる
今ハ初器
込々器り
ゆえ

後出代

竹

秋分

長夜

夜寒

秋

正 神祇 ▲五 植物 ▲八 乾坤 ▲十一 神祇

菜摘川神七 御齊會八 御修法十 大元師法 巖鳥祭下 居籠九 十日經子

かやけり子 蛇床子 復菊 朝菊 石竹 瞿麥 大和梅子 常夏 袖ぬれ草 燕

秋の夕暮 秋のくれ 秋の夕暮 秋のくれ 秋の夕暮 秋のくれ 秋の夕暮 秋のくれ

日蔭のかつり 日うけうつり 庭燎 御火焼 暦奏 五節舞



住吉御弓十五 平岡御粥十五 三保祭月 常陸帯十日 常陸帯十日 常陸帯十日 常陸帯十日

天南星 石葛 かつむらぎ 南天花 赤央柳

秋の夕暮 秋のくれ 秋の夕暮 秋のくれ 秋の夕暮 秋のくれ 秋の夕暮 秋のくれ

日蔭のかつり 日うけうつり 庭燎 御火焼 暦奏 五節舞

春 夏 秋 冬 ○二十四

正 神祇 五 植物 八 乾坤 十一 公事故夏

ノ名ヲ書目テ折返シ
テウラバ隠シテ相
フ祿宜ニ結ハスル之
ワロカルヘキハナレ
結バレヨカルヘキハ掛
帯ノヤウニマロク
結ボレナカルト
イフナリ

遊行札切 十六日

獅子頭神夏

吉田清菰 十九日

女節分

厄神參 十六日
ヤハタ

蕨民将来

是ハ八幡ノ厄神ノ
宮ニ指テ蕨民ノ
來ノ相 モトノ
歸ル事也

御 忌 十九日ヨリ
廿五日

法然上人ノ忌日
知音院

繪 踏 正々三月
ナメコ



切支丹ノ佛像ヲ踏セ
テ邪宗門ノ改トス
今猶アリ九州ニ
限ル春三月渡ル

春



梅 花

くちらち 雑入

金 銀 花

冬ノ花

神



さつぎ 躑躅

合 観 花



栗 の 花

さくらの花

樗 花

せんごん

生 胡 桃

夏

芋名月

待 宵 月

待 宵 月

宵 不 知

十六夜

以下秋三月



さやけき 月さやけ

月のあつら

かつら 不盛のうけ

月の光

三ヶ月

弓の朋の弓

上弦のかり月

下弦のかり月

月のあつら

月のあつら

秋

帳 臺 の 試 日

五節時天子

虚衣子格

何ふ天子

童女御覽

湯涼酒

新嘗會

是ハ八ヶ倉の初穂

を神に奉る

故十二人ト云

豊 明 中辰

是ハ七ヶ倉の初穂

を神に奉る

故十二人ト云

狩 の 使

是ハ五ヶ倉の初穂

を神に奉る

故十二人ト云

小供のあつら

あつら

あつら

冬 二十五

▲正 公事故事 ▲五 植物 ▲八 乾坤 ▲十二 乾坤

二宮大饗

東宮中宮の
拜礼

臨時客

関白家のあむ

朝 靱

上皇へ行幸ま
ます

叙 位

位階を叙さ
る

参

来 の 実



杏 子

かき

青 梅

小梅
もち梅

楊 梅

月 の お 待

立 待

居 待

伏 待

更 待

廿日 庚中
庚中月

廿三夜月

玄 振 半 月

王 鬼
月の日名

鎮 魂 中

十二 月

乙 月

乾 坤

氣 月
春待月

梅 初 月
三冬月

とつ 大 月

季 冬
暮 冬

乙 子 朔 日

女 叙 位

女の叙階

女 王 祿

女王祿

白馬節會



春

李

枇 杷

青 柚

瓜 の 花

越 瓜

あさ 瓜
あさ 瓜

胡 瓜

茄 子

栗 蒔

き 蒔

夏

常 城 耀 城

是ハ 仙 女 ノ 名 ナリ
仙 菜 ラ 盗 ミ テ 月 中 ニ
カケレシ 者 ニ 然ル

金 波 水 輪

水 鏡 玄 鬼

銀 盤

星 月 夜

星の光の
月小あ

植物類

八 朔 梅

秋

小 寒

大 寒

寒 の 入

寒 色

寒 ざ り

寒 月

臘 日 辰 日

植物類

臘 梅

寒 梅

冬、〇二十六

正 公事故事 五 植物 八 植物 十二 生類

馬せち

五月七日に青馬
を元来の年中の
邪元をのそくと
り本文の侍あ
承列元年正月
豊列元年正月
す青馬を云

御 弓 七

外記政初 十一

縣 召 十日

御 薪 十五

諸君の下友
な佐伝りふ

踏 哥

男た 十四

女た 十六

あふきまじり
といふ

男女声のり
たふとて

かぎりの綿

たふとて
をを伝りて

内 宴 一月

仁壽度あて
公なり

春

胡 廣 蒔

稗 蒔

蚕 豆 引

蛭 豆 引

寛 引

すべり 寛

あ の ざ

早 松 茸

若 竹

竹 植ル 月 十三



あふきの蒔

和 布 蒔

生 類

蟬

まのせき

鶯 音 人

夏

初 紅 葉

名ノ木 散

梅 嫌

木 花

桂ノ花

漆ノ花

銀 杏

ざくろ

葛 根 堀

藍ノ花



山あみの心

芙 蓉

あふきの蒔

牡丹分根

芍薬分根

敗 荷

まのせき

秋



早 咲 梅

早 咲 梅

探 梅

寒 咲 梅

孟宗竹

箕和田鯉取
寒鯉取

八 目 鱧

鶺鴒 菜

衣

乙子 稚 餅

薬 喰

鯛 味 噌

氷 鮒

寒 造 酒

冬

正 公事故事 五 生類 八 植物 十二 衣食

葭灰飛入 立春

水鳥ノ巢

紫 苑 あるに 鬼のまこま

豆腐氷ル

春 盤 円

生 水

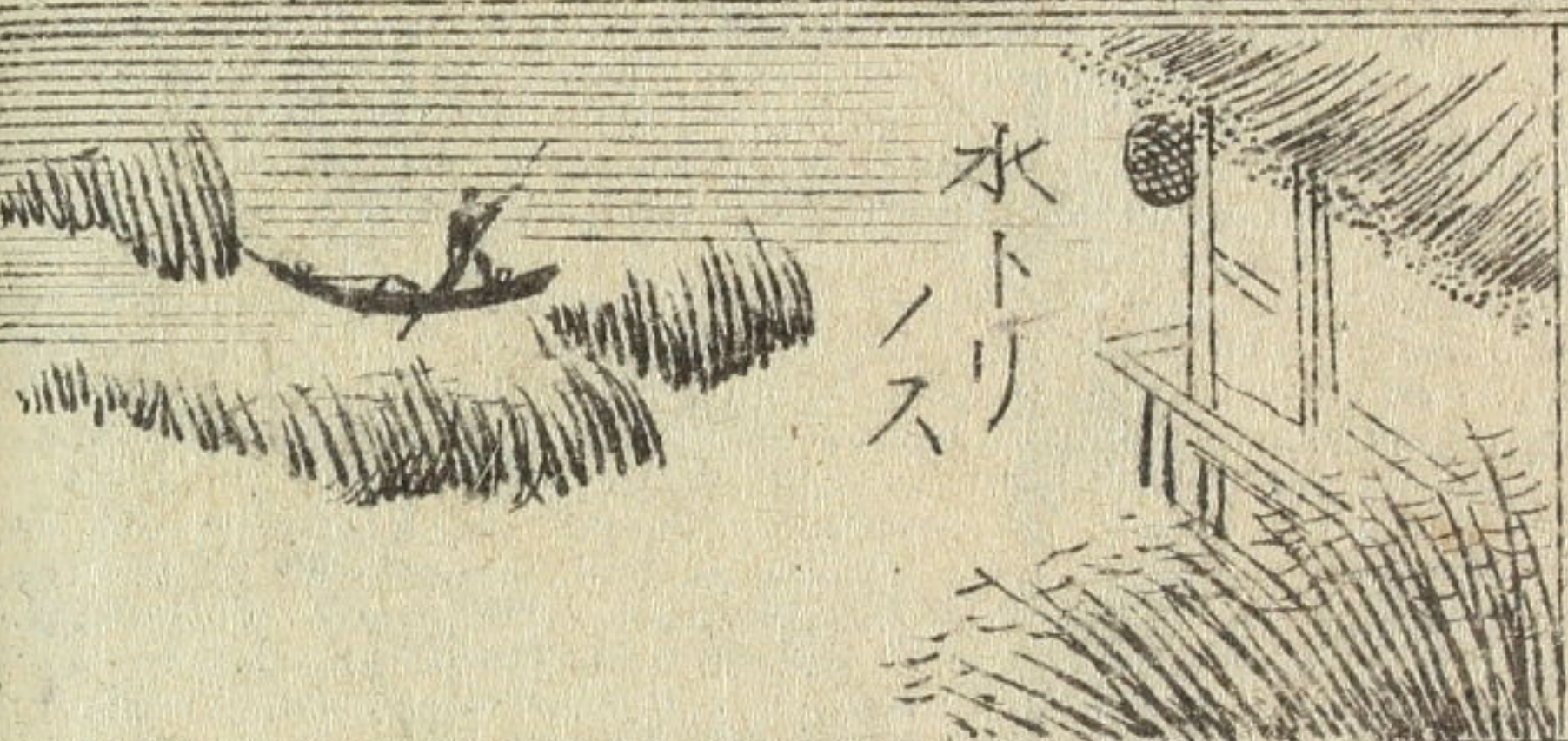
飛 符

祝板 仙水

神 茶

鬱 壘

祝板を下のつぎ
の凶鬼を掃き
しなはしなり



天 穿

焚餅をのふく
もろこしは尔後
焚餅をふみて
つまみ屋のしるま
くしる

二 月

乾 坤

き ちん ぶ

梅 兄 月 梅さくら

ま 川 月 山生月

梅 弟 月 言解月

春

鳩 浮 巢

増 入 雑 乞

水 雞

鴨 稚 子

か ち ぬ の 子

諸 鳥 毛 草

羽 跋 鳥

煩 鷺 あめけ 階

鹿 ノ 子

夏

縹 紅

宇 治 花 花 園

花 野

水 引 の 花

白 粉 の 花

檀 特 花

秋

神 秋

寒 垢 離

寒 念 佛

御 國 忌

臘 八 崇福寺にて行は
る一朱鷺二年より初

冬



〇 二十八

▲正 公事故事▲五 生類▲八 植物▲十二 公事故事

初	臘	二日	花	春羊	令月
雷	月	灸	朝	中和	仲春
いあひかり	あざろり	あざろり	あざろり	あざろり	あざろり

初	臘	二日	花	春羊	令月
雷	月	灸	朝	中和	仲春
いあひかり	あざろり	あざろり	あざろり	あざろり	あざろり

鳥	金剛草	ツユクサ	クハナ	月	露
頭	草	草	草	草	草
こほつをぎ	こほつをぎ	こほつをぎ	こほつをぎ	こほつをぎ	こほつをぎ

かつけ綿	公事故事	めかり	齊宮繪馬	佛名	最勝寺灌頂	臘八粥
下さうり	三十一日	三十一日	十五日	十五日	十五日	十五日
おん	おん	おん	おん	おん	おん	おん

春	植物類	驚蟄	八巾	社	出	貝寄風	芝居二の替
たこあがる	たこあがる	たこあがる	たこあがる	たこあがる	たこあがる	たこあがる	たこあがる

夏	衣食類	粽	蠶	蛇衣ヲ脱	嚙虫	小	蛆
ちすまき	ちすまき	ちすまき	ちすまき	ちすまき	ちすまき	ちすまき	ちすまき

秋	芒花	尾花	花	鳳来紅	雞頭花	雀	三七の花	黄蜀葵花
なやらふ	なやらふ	なやらふ	なやらふ	なやらふ	なやらふ	なやらふ	なやらふ	なやらふ

冬	追儺	荷前使	御髪上	御髪上	御髪上	御髪上
なやらふ	なやらふ	なやらふ	なやらふ	なやらふ	なやらふ	なやらふ

▲二 植物 ▲五 衣食 ▲八 植物 ▲十二 歳暮

初花 花待 催花 初櫻 糸櫻 彼岸櫻 紅梅 赤開梅 八重梅

菰ちまき 柏餅 菖蒲酒 蓬衣 撫子衣 帷子 菖蒲帷子 羅モノ 單もじ

ほよぶの芒 木賊 阿の堀 ときと結え

師走 歳暮之詞 事はしめ



座論梅 黄梅 接木 接骨木花 五加木 杓杞

單羽織 辻が花 眞体之づつら 晒布 生布 木平 布 松本祭一日

草藤 濱ゆの花 蘆ノ花 澤桔梗 水阿のい 竜膽

節季 煤ちき 餅搗 餅花 餅むろ 米阿ひ 節分

春 夏 秋 冬 ○三十



二 植物 ▲五 神祇 ▲八 植物 ▲十二 歳暮

鴨 肺花

加茂豆揃

鶉 草

苗 代 萹

加茂競馬

藥 堀

苗 代

藤木林祭

苦 参 引

種 蒔

生玉やぶさめ

たうやこ引

種 蒔

大津新宮祭

新 蓋 草

種 蒔

室 祭

蓼ノ種

種 蒔

今宮祭

馬蓼ノ花

菜花

両社祭

ケタテ



有...



鯛

薺花

...

犬蓼ノ花

...

犬根花

...

蕎麥ノ花

宝 船

若 紫

...

車 前 子

さ...

住吉御田植

苗 香 実

虎 杖

...

鳥 瓜 花



草 芳 杖

...

鳥 瓜

豆 打

水 葱 摘

...

玉つさ

豆 打

三...

大原志

蒺 枝

猫 札

...

...

...

...

...

...

...

...

春

夏

秋

冬

糸切齒ニ花ハ腕夏
ヨリ秋カケテ炎水
ソコニキマフコトキト
此若葉ノ時ヲ云

蕨

かきまらび

狗 脊

蒲 公英

つとま

蓮 根 堀

き植る

紫みちり

藍 蒔

ヨリヲハラシト云
者ヲ守護シ
玉フトテ蠶スルモ
ノ別テ出蠶スト云

山田御田植



石槌山詰御子

富士垢離

公事故夏

騎 射 五日



アヒヒ花公事ナリ
冥ハ秋ナリ

菱 花

種 なまび

種 ふくべ

大 根 蒔

菜 種 蒔

うしし蒔

ち蒔

やくあと

年 忘

年 の 市

神折鋪賣

穂 長 賣

標 葉 賣

かや
うちをま

葉 竹 賣

かざり松賣

門松いとあむ

麻 蒔

青 かり

種 芋

杉 菜

松 菜

菊 分ル

菊 苗

藪 蕎麥

角 蘆

何の 籩

春

ちりをたふる弓
と

苜 蒲 輿 日五

あふの東西、輿
を立るとなり

苜 蒲 花 机

典美乃より
まらと

引 折 日

左をの 三日

円 五日

右をの 四日

夏

胡 芥

小 菜

あひり 菜

はのみ 菜

間 引 菜

中ぬき大根

栗 蒔

柁 蒔

稗 蒔

蜀 黍

秋

年 少り物

年 木 樵

と一本

衣 配



衣配出々集れり
はら定まる時
なすいぬり一珠足
在哉三五秋の

冬

二 植物 五 公事故支 八 植物 十二 歳暮

芦の茅

蓬 摘

鬘 草

焼 野

焼 野々芒

やぐらの芒

刈生の芒

切生の芒

萩の焼原

同若葉

萩若葉

蔦若葉

畑や

山や

芝や

野を焼

茶やき 雑入

菲

蒜

のひ あさつき

春

月 六日

三日より六日まで
左右よりハる傷
て誘射あり

艾 虎 日五

艾入 蒲人

のまきと蒲は
てはを泡り粉
氣を去 呪

薬 玉 日五

さらきの玉
五彩糸

長命湯

長命湯



法を必ず五月

五月 鏡

端まる初はて
鏡は清る

鳥 美

鳥 美

鳥 美

鳥 美

夏

玉 蜀 黍



茸 茸

茸 茸

松 茸



かろうけ

かろうけ

かろうけ

かろうけ

かろうけ

かろうけ

かろうけ

かろうけ

かろうけ

かろうけ

秋

あり修徳公のく
けし免を季と
甲多一集 の衣
祀りや正月のま
なる申末冬季
おとに相氏同
予お神をといふ
ひなやと報を
養老

年内 立春

吉田大板

大原もと祿

内待所神樂

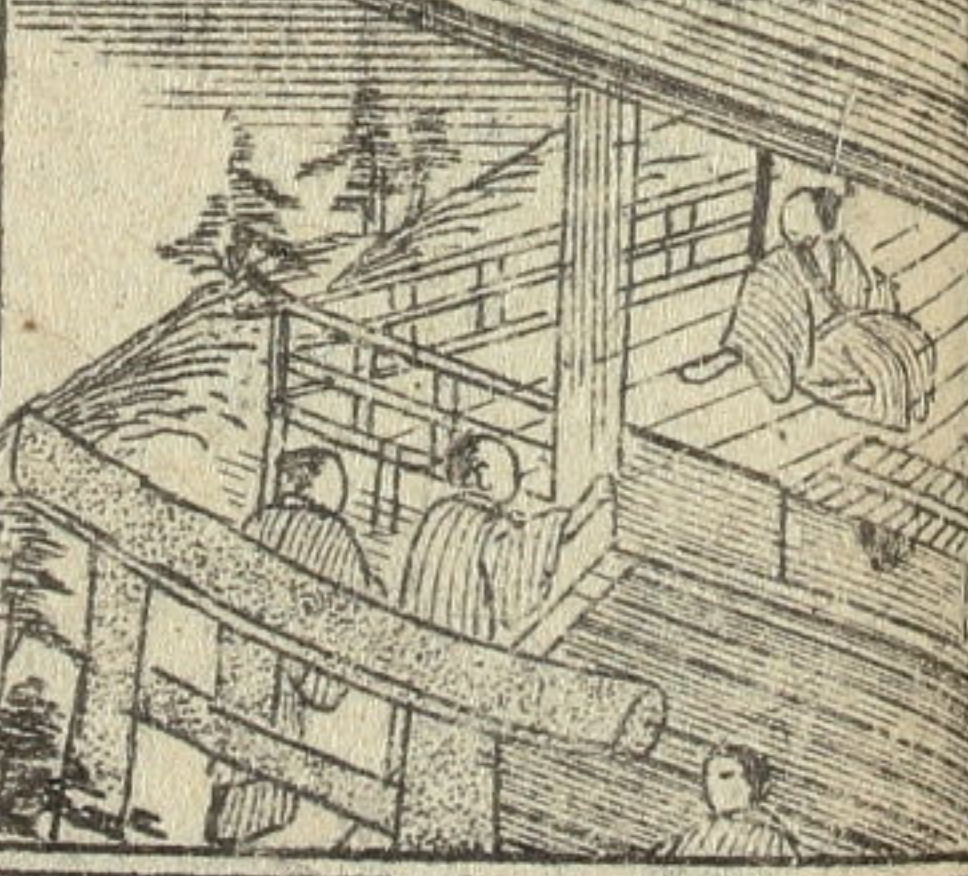
吉田大板

大原もと祿

内待所神樂

吉田大板

大原もと祿



五條天神詣同

古あゆみ

曆卷納

卷を川る曆

冬

三十三

生るるめ

燕

つむぎのまゝに
つむぎのまゝに

雉子

帰雁

小へ申く
のくる厩

いぬる厩
のくる厩

丁の名は
丁の風

貝鳥

か不ふふ

たごころ

松雀鳥

雀子

孕雀

引鴨

引鶴

鳥此巢

春

たへこのりるよ
なるふとん

森印符

赤靈符

松の板は朱
で着浅き物
を洗はすま
いふひなり

競渡五日

鳥車

屋系めふえ

粉團

滴粉團

水圖 白圖

瑞午は粉團浅
色りを盛の中
に置て小弓にて是
を射て採ると之

六月

水無月

風待月

夕夏月

林障

九夏

季夏

晚夏

夏

田 蒔

中 稻

八束穂

稻 穂

稻 干

稻 垣

稻 舟

稻 け

落穂

毛足

秋の田

田 小田

山田

燕 帰ル

いぬるつむぎ

鷹 鷹

初 鷹

秋

右の窓の房

曆此未

札 納

春 待

春 近キ

春 隣

星 佛賣

年 籠

年 暮

行 年

年の末

年の終

少の尾

いぬる年

家の年

惜むと

と 満

年 湊

年 果

年 限

冬

二 生類六 乾坤八 乾坤十二 歳暮

鈴こさす	鳴鳥狩	泊り山	泊り狩	泊り鷹	佐保姫鷹	縊尾此鷹	白尾此鷹	朝鷹	同旧巢
ひとりめす むのにおもの	氷室	溽暑	永夏 陽水	お室のお八日月 より九月まで 獄をぬかれとも六 月一日残りあめと 司の故をいね五 熱月たれを店贈 まもおれ用ある残 むのをものとつふ 之源氏と夏の をいふ	お室のわらわ むむろのを お室こり	ひとりのめす むのにおもの	かあこのま がん	年仕舞	年此別
小鳥渡	色鳥	小鳥渡	鰯	小鳥渡	鰯	腹海	菱喰	年此名残	小晦日
除夜	岡見	暮此むふ	あけ乞	掛取	大三十日	小晦日	年此名残	年此別	年仕舞

蛙	雁鳥化テ 鳩ト成	大野	栗栖野	宇多野	大野	小	大	極	炎
の世傳ハ餅を おは渡して物 は利付りお室 の名所あり	松ヶ寄	長坂山	北山氷室ト八舟波河 内大和山城所隨之	大野	栗栖野	宇多野	大野	小	大
大	日	眉	山	山	山	四十	五十	連	啄木鳥
大	日	眉	山	山	山	四十	五十	連	啄木鳥
大	日	眉	山	山	山	四十	五十	連	啄木鳥
大	日	眉	山	山	山	四十	五十	連	啄木鳥
大	日	眉	山	山	山	四十	五十	連	啄木鳥
大	日	眉	山	山	山	四十	五十	連	啄木鳥
大	日	眉	山	山	山	四十	五十	連	啄木鳥
大	日	眉	山	山	山	四十	五十	連	啄木鳥
大	日	眉	山	山	山	四十	五十	連	啄木鳥

鹿角落

鹿の角 雜之

孕 鹿

衣食類

治 龍耳酒

社日酒 酒の
免ち耳のまを
きし治すると
いふ故に

鮒 鱧

鮒ハ鮒之

蒸 鮓

泉

せんせい
やうい

清 水

清みすみ
清みくみ

土 用干

むし干
むし拂

清みせと
清みうと

井

嘉定 十五日

嘉定 十五日

鷓鴣

せうき
石き

稻 負鳥

まはくた

太 刀魚

さびあゆ

落 鮎

河 鹿



りきし 糶之
大サ尺汁以塩水
蒸令半熟取出陰
乾スル一敷日而テ
灸食仍名クシ鮓
表日賞之

神 糶

初 午

水間参 月

广耶参 月

本妙寺詣 月

東福寺儀法 月

春

此は通言に十六枚
成りて食物を買
て我後せしむる
梅あり故ふと
うてき例ふあふ
ふ又ふ通と傳と
和語お通と傳と
石豆の漫に茶を
流るるを茶と傳と
盛り各向紙水と
以て清器に置る

樹 香

篔 籠

抱 籠

竹婦人 竹奴

夏

江 鮎 鮎
くくま 藻
蛇 穴 人

衣食類

襦 衣

礎 衣

衣 衣
衣志衣

秋

名所 二勺去
旅体 二勺去
字去一三勺去
折面成りてても
余奥よりつりて
も三勺去べし

山類之詞

山 峯

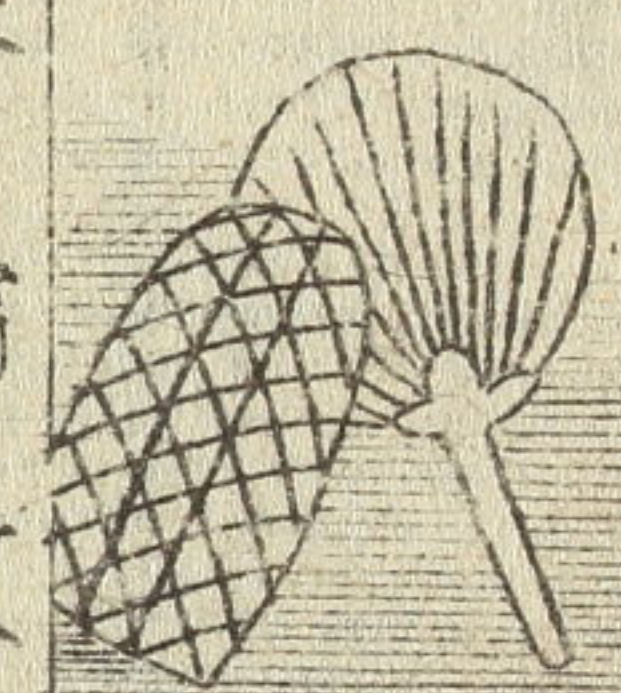
嶽 峯

嶽 峯

冬

▲二 神祇 ▲六 乾坤 ▲八 神祇 ▲水邊

吉野餅配 一日	八幡初卯	大原野祭 上	祈年祭	行基祭	園韓神祭 上巳	春日祭 上甲	二月堂行 十四日	月水とり 十二日	同大松明
竹婦人 掃花	香需散	香需散	香需散	香需散	香需散	香需散	香需散	香需散	香需散
新結	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米
谷峠	麓高根	坂尾上	洞九折	龍炭竈	岫畑	岡梯	關嶋	山姥山鳥	非山類詞



新能 七日ヨリ 十四日	比良八講 八日	祇園八講	五穀祭 九月	常樂會 十五日	涅槃會 月
糲つと	夏引の糸	秋待	秋をき	夏ふりき	夏暮り後
新走	いり黒清	神秋	三村祭 一日	白髭開帳 五日	敦賀祭 十月
吉野三鳥	越路滝川	山賊嵐	獵人裾野	岩屋水室	仙人仙人

春

夏

秋

冬

二 神祇 六 乾坤 八 生類 水邊

仏のまろき

二月の若木

称まん像

さきまろし仏

遺教 紅

訓讀 會

積 塔

十六日

或ハ石塔片カケリ

十六日 人檢校

以下至聚分集清

聚庵焉孝光天皇

ノ皇子兩夜御子

終石塔令

彼 岸

時正

時宗躰念佛

田宗寺最勝

會 柱炬火

十五日

浅間祭

廿二日

聖靈祭

廿二日

聖徳太子の御忌日
みて天王寺よて法
あり終日冷人の
の祭は

北野祭

廿五日

廿五日天海宮の御忌
日なれは野志

春

復 雑 限

復 雑 別

復 過 了

植物類

水室の櫻

水室の花

蓮

白蓮 紅蓮

荷 葉

蓮の實

澤 汚

蒲の穂

夕 顔

むさどのほ

鼓子花

風 蘭

時計草

射干

射干

夏

放生會

いさくせと夜ッ



野口念佛

菅大臣祭

五條坊門の西ニ
有る極度といふ
是ハ天神の居る
所なり

御靈祭

未名祭

菩薩祭

宰府祭

西院祭

公事故哀

駒 曳

駒 迎

望月の初
音系之初

よゆの初
むさくの初

御霊祭

秋

濱 澤

沼 橋

龍 寛

樋 嶋

池 堤

漆 流

淀 淵

渚 崎

沖 津

汀 泡

瀨 汐

潮 洲

溝 筏

海士 魚

築 いさり

浮木 海草

清水 布晒

船 岸

水 貝

冬 三十九

二 公事故事 六 植物 八 公事故夏 神祇

子てク講あり菅
系氏つくりま行なふ
菜種作くり

道明寺祭 廿五日

水口祭 神

公事故夏

猷生子

もろこし二月一
日すき袋は百
穀瓜李の米種
を入て送すばい
はり

季御讀經

い何ふき

日向葵

王簪草

鷺草

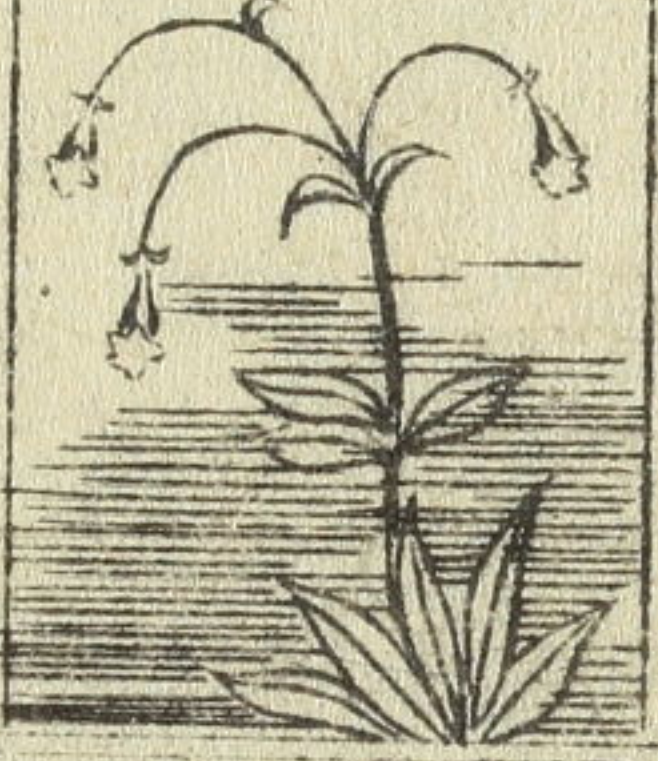


眼皮

律の花

律あける

釣か福子



とろの尾

猪の花

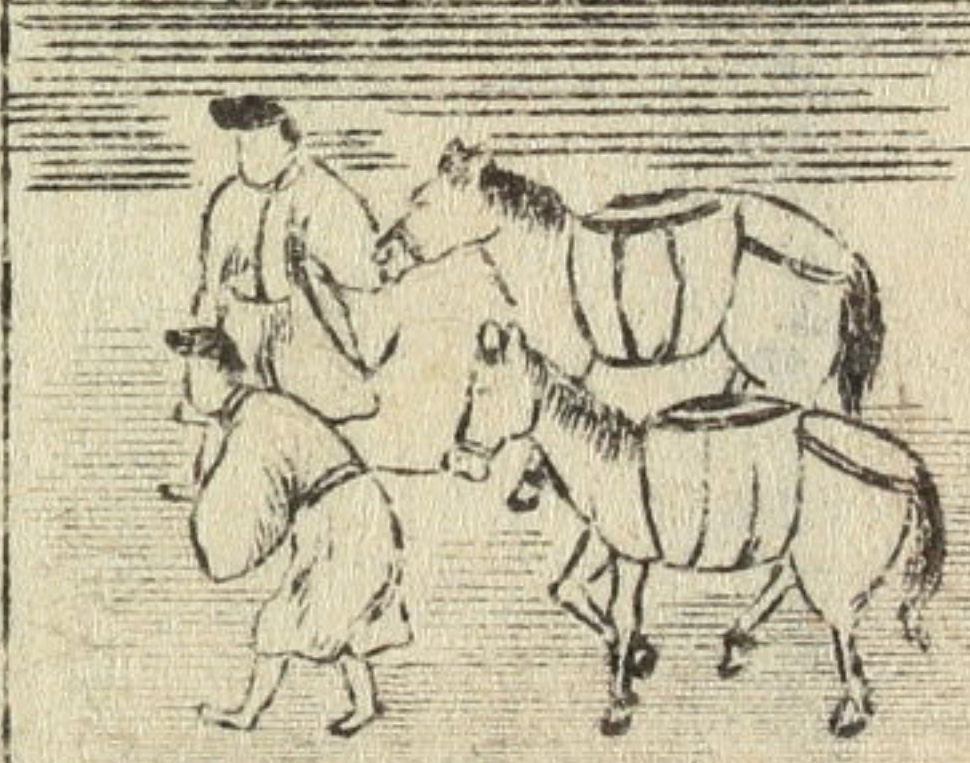
みすきくさ

麒麟草

志れの人約
布きの約

引りけ約

流木の印板 約
引くまきくさ



釋尊

二月回

綱川狩

泉

汐汲

蓮

井戸

みを致し舎
あやめ
りきほんた

非水邊詞

日のあけ
あけり岸
らせ川
おもひ川

田苗代

笛家 岩船

住吉 難波

鳴

朝のむろ

かきくきの橋

さののくさ

神祇之詞

社 ぼん

宮居 干木

列見

公事上の納ま外
旭史など冠よ花
うさして太鼓なまて
行いも六代以下
の遺言猶ある者を
撰て式ア兵部省
よりひきおてまを
上りぬよきと然
る客後をみる由
へ列見いふとそ
なり

釋奠

おきまつり
上丁日

春

夏

秋

冬 四十

三 公事故 六 植物 九 乾坤 神祇

大嘗會 冥みて水子
兵十撰を結ぶとて

祈年祭

四日大神を三下三
十百世座の神を
おほやけしまつり
たまひを年を
いのり結ぶとて

三 月

乾 坤

弥 生

まをす 朝らひ

まをす 朝春

九 春 晚春

未 春 姑 浩



赤 草

一名 山酸漿

青 魁 燈

青 たるがし

葱 苳 仁

綿 の 花

紫 蕪

無 刺 晚 秋

季 秋 桐 秋

重 陽

重 九

菊 節 句

きくの 酒

後 の 離

きくの 露

十 三 夜

後 の 名 月

鏗 木 鳥 居

拜 殿 御 供 殿

神 子 かんき

長 官 御 板

神 樂 市 殿

神 輿 繪 馬

注 連 御 幣

祭 ぬ き 柏 掌

大

洗 米

上 巳

桃 花 之 節

桃 之 節 句

雛 祭

雛 あそび 雛 うさぎ

左 雛 紙 雛

内 裏 雛

柳 太 刀

三月三日賜待臣細柳園
帶之免萬出幸此玉三柳
ノ髪ヲカクス成ベシ
柳ノ髪曼

春

蒜 花

茗 荷 花

麻

あさ 前 づらひ 前

ささき 麻

花の ささき 子 似

二重 前 秋 実 も 秋 入

藍 苳

菅 苳

蘭 苳

夏

后 の 月 三 夜 月

月 の 名 残 厚 名 月

秋 色

山 粧

露 時 雨

露 暮 一

露 霜

秋 深 干

暮 秋

行 秋 秋 浅 色

秋

御 火 燒 切 火

船 玉 東 遊

乙 女 子 神 馬

祝 言 初 持

忌 竹 糺

禰 小 忌 表

三 寸 散 米

榊 玉 垣

湯 立 巫

ゆめ 燈 起 請

冬

三、乾坤六、植物九、尺教

清明 さらりてべり 我木香 錫杖 血祿

穀雨 早桃 桃 六道 柱杖

復待 李桃 桃 地獄 因果

復近キ 木茸取 檜 來迎 極樂

暮隣 竹の皮取 佛甲草 齋 引導

行春 生類 小蓮花 五輪 行堂

かへる喜 趨 鷓 蒞 蒞花 五結 塔婆

春此限 雲雀鷹 尾花散ル 木魚 癸心

春此別 練多雀とハモ 尾花散ル 坐具 獨結

春此名殘 鷹羽を習 鷓 鷓 鷓 鉦 順礼

三月盡 腐草 螢と糸 鷓上戸 精舍 和讃

植物るん 空 蟬 うら 枯 談義 笈

桃花 せいのかり 蟬 野山の色 衆徒 尼

白桃 緋桃 せいのかり 野山の色 流轉 功德

姫源平桃 せいのかり 草此錦 非釈教詞

けいのち せいのかり 草此露 煩悩 坊主落

櫻 八重桜 火やうり虫 枯野の色 碩学 書記

八重桜 火やうり虫 草紅葉 鐘

春 火やうり虫 草紅葉 医者此釈名

春 復 秋 冬 四十三



三 植物 六 三類 九 植物 意詞



ねんさくし
 排さくし
 家さくし
 加さくし
 有さくし
 あさくし
 ありさくし
 龍さくし
 白ひさくし
 墨深さくし
 湯さくし

火子入
 復 虫
 金 亀子
 毛 虫
 蠟
 海月取
 鯖 鱈
 鯖 鱈

葛 紅葉
 紅 葉
 楓 紅葉
 櫨 紅葉
 白膠木紅葉
 漆 紅葉
 梅 紅葉
 櫻 紅葉
 杏子 紅葉
 柿 紅葉

諸職人新名
 意之詞
 あねひ
 うすね
 湯さくし
 うつり
 袖の香
 味香
 うすね
 むすね
 新まくし

ふり
 法海
 けい
 もん
 何け木の葉
 太山府君
 山橋
 さくし
 犬 櫻
 花
 褒美
 画の花
 織物


 川 狩
 持 網
 四手網
 纏


柞 紅葉
 海神の紅葉
 視 紅葉
 檜 紅葉
 むらみち
 下らみち
 えんき
 紅葉のあ
 さね
 もみち

後の新
 恒阿尼
 木の葉
 さくし
 物ぬ
 坊主
 孫
 夕帯
 やり

春
 夏
 秋
 冬
 四十四

右ハ三月に
まゝく

花 盛

花つん 花ち

花の花の

花く花り

花の花の

花の花の

花の花の

花の花の

花の花の

衣食良る似

氷 餅

一 杖 酒

甘 酒

山 酒

麻 地 酒

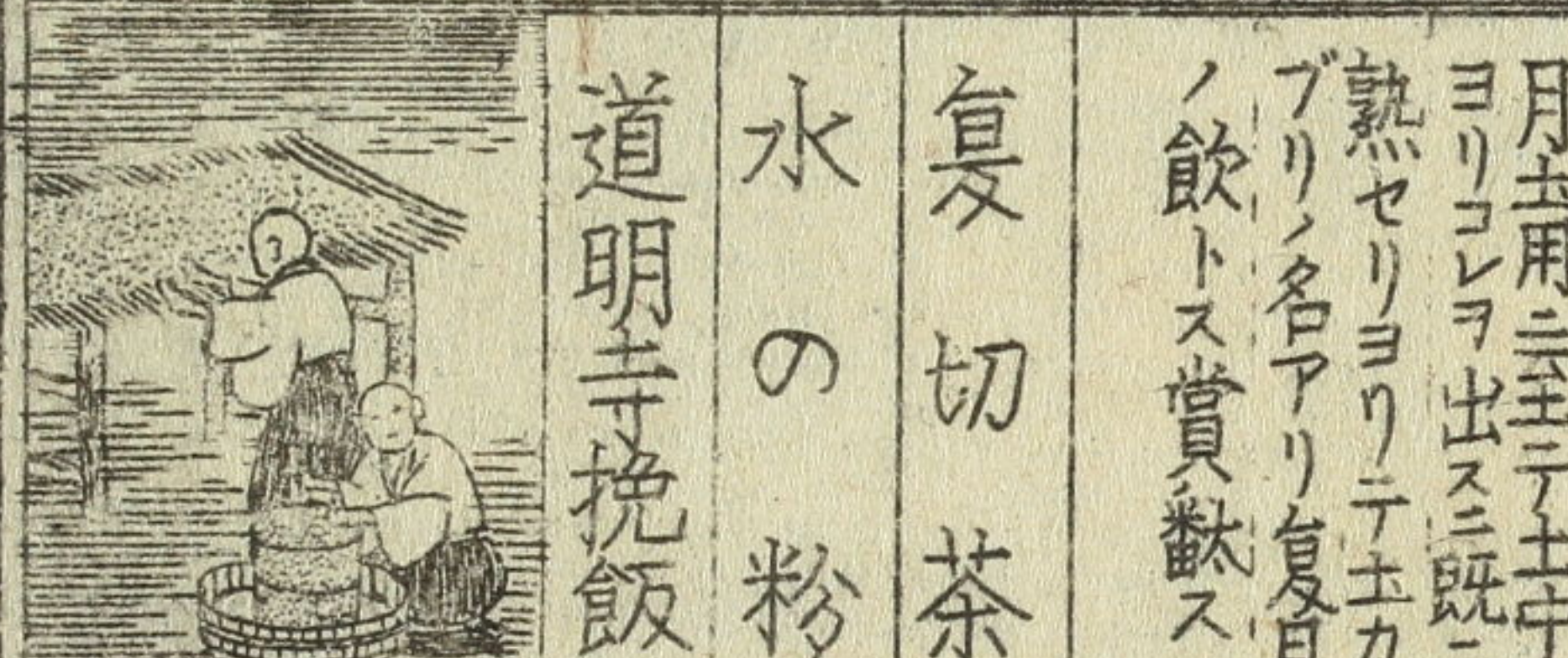
豊後國ノ製ナリ
三ノ國會ニ南都
淺茅酒麻地ハ豊
後式ハ肥後ノ國ヨ
リ出其造法糯米
糴米等分ニ合セテ
冬月寒水用ニ是
ノ酒也

ヲ以テ是ヲ種トシ埋
ム冬春ヲ經テ夏
月土用ニ至テ土中
ヨリコレヲ出ス既ニ
熟セリヨリテエカ
ブリノ名アリ夏月
ノ飲トス賞歎ス

復 切 茶

水 の 粉

道明寺挽飯



ゆいしち焼

水の水の

色の色の

松の松の

南天の南天の

添の添の

海の海の

榎の榎の

榎の榎の

とのとの

椿の椿の

掠の掠の

だのだの

せんのせんの

菩の菩の

積の積の



穀

うのうの

門の門の

なのなの

肌の肌の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

左の左の

春

夏

秋

冬

▲三 植物 ▲六 衣食 ▲九 植物

楊梅の花	山梨の花	浦の花	玉帯の花	ゆき梅	杏の花	梨の花	李の花	木瓜の花
葛水	砂糠水	振舞水	心太水	切麥	冷麥	干瓜	奈良清	煮梅
九年母	柚	柑子	橙	蜜柑	金柑	佛手柑	栗	果
まごり小姓	美後家	丸ひん	嫁	妹あり	おん	おん	たむぎ	



長春	長春	庭梅	馬酔木花	果欄花	つくまの	柿花	胡桃の花	栗の花
六月會	愛染糸	富士詣	神杖	掛鯛	せとー	沖鱈	醬造	納豆仕込
標	榛	榎	特	皂角子	雲州橋	老ん布	栗	果
傾塔町の名	白拍子	灰	辻	志り眼	出合宿	まのし	たむぎ	



冬 ○四十六

沈 丁 花	石 南 花	辛 夷	連 翹	小 粉 團 花
-------------	-------------	--------	--------	------------------



七日山融院天延
年六月六日聖
者の家は汗東洞
院へ疎産有き吳
差夫より穿有
り七日のぬり始
れり秀吉公の時
今の四條系極の
所旅所を遷す

桐油の實	櫻	菜 黃	櫻 實	栗	梨	栗	栗	栗
------	---	--------	--------	---	---	---	---	---

非意詞	おく極	後家	市め	申唇	乙女	下女	下女	下女
-----	-----	----	----	----	----	----	----	----

雪 柳	小 米 花	茶 摘	糸 葉 摘	今	残 花
--------	-------------	--------	-------------	---	--------

長刀鉾 函谷	月鉾 雞	菊水 船	放下 岩戸鉾	孟宗山 占出山	郭巨山 琴割山
-----------	---------	---------	-----------	------------	------------

木な山	軒のつはな	おふの	椎	推 柴	柿	柿	柿	柿
-----	-------	-----	---	--------	---	---	---	---

櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛
---	---	---	---	---	---	---	---	---

春

夏

秋

冬

▲三 植物

青物花

雅喜する決掛、
砂をよと出、
暮の中より久敷、
るをよふこゑの、
出さるいゝいゝ、
ゆるむのすなりし、
様日る、
の志、
よおのむ、
へい、

躑躅

とちつく

白つく

おつく

岩つく

寄つく

うほきり山
白楽山

大子山
木賊山

芦刈山
花盗入山

山伏山
天神山

のさほこ
以上七日

御旅所へ出るふ
神を、
園の本社へ、

鯉山
橋弁ヶ山

黒主山
悪候山

行者山
鈴鹿山

筆柿
おむく

新
榎

豆
引

小豆
引

近
稻

おほく

むり

おと水

紅葉
鮎

▲九 植物

▲迷懐

四十九餅
さくら餅

なまき人
かへぬ

たきふすま
あき松

おむく

迷懐詞

志ふ
やもの

府人
浪人

おちあき
せ捨人

老
むく

命
まつ

花

藤

まじ藤

藤つる

藤の柳

下りふち

藤なま

藤つる

藤つほ

種なり

仙臺

萩

華曼

草

山

吹

春

夏

鷹馬山
観音山

舟鉾

以上十四日

七日の舟鉾、
中馬長万、

今、
さく氏、
又、

又、
何、
な、

臣下、
お、

り、

深秋其、
謂、

尾越の鴨



霜
鹿

熊の栗
棚

豺獣の
祭

綱代
打

衣食類

秋

うきも
姥

親子
隠居

世後
古家

非迷懐詞

賤
山姥

愚
産

翁
葉の戸

尉
草庵

夜分詞

月
星

冬
四十八

八重山吹
ソコ山吹



高麗菊

何りま菊

春菊

母子草

津島祭 十九日
尾州

芦の節舞

十四日五日丹祭まで
板松灯とりすとろ

熱田祭 十九日

江戸山王祭 十五日

大田乃波文明年
中江江尾王様現の
御傍とまきく

伊勢祭禮 十六日
十七日

竹生鳴祭 十四日

博多祭 十五日

菊の酒

栗祝

ぶどう酒

あさめ酒

抽味嗜

とち餅

新をを

青豆

黄檗

中

明星曙

宵寐

枕夢

神楽日待

七夕曉

稻妻狐

横雲 志のめ

花火 灯火

燈籠 螢

いちりり火

櫻草

九里人草
七重草

金仙花

金鳳花

忍ひね

五形

春蘭

薊

鬼あき

眉作花

妙音講 月

相国寺懺法 十日

座頭涼 十日



上難波祭 日廿

鞍馬竹切 日廿

九日小袖

きくろさき
もろち衣

新綿

神祇

野々宮別

新地蛭城ノリ故
称野宮

野々宮の別と申へ
命宮をよこもらうせ
玉て三年目の九月
は伊世へあ
時は時の天子へ
とまをよこ内一玉
ふしよのとき天
子よづらふす

埋火 明方

人魂 蒲團

床 きぬ

辻君 嵐

蝙蝠 寐鳥

初雞 蚊帳

追難 除夜

非夜分詞

鐘 入相

泊 夜

春

夏

秋

冬

▲三 植物 ▲六 神祇 ▲九 神祇 ▲非人倫

鬼あさきちちうと
いふ

葶

右系すしれ
一扱くさ

助川よ
一紫よ

花の春右系の形
ふたよ云こ

丁子草

馬蘭

芽花

茗荷

なりゆ

若菰

檜

通草

水露の花

三月菜

三月大根

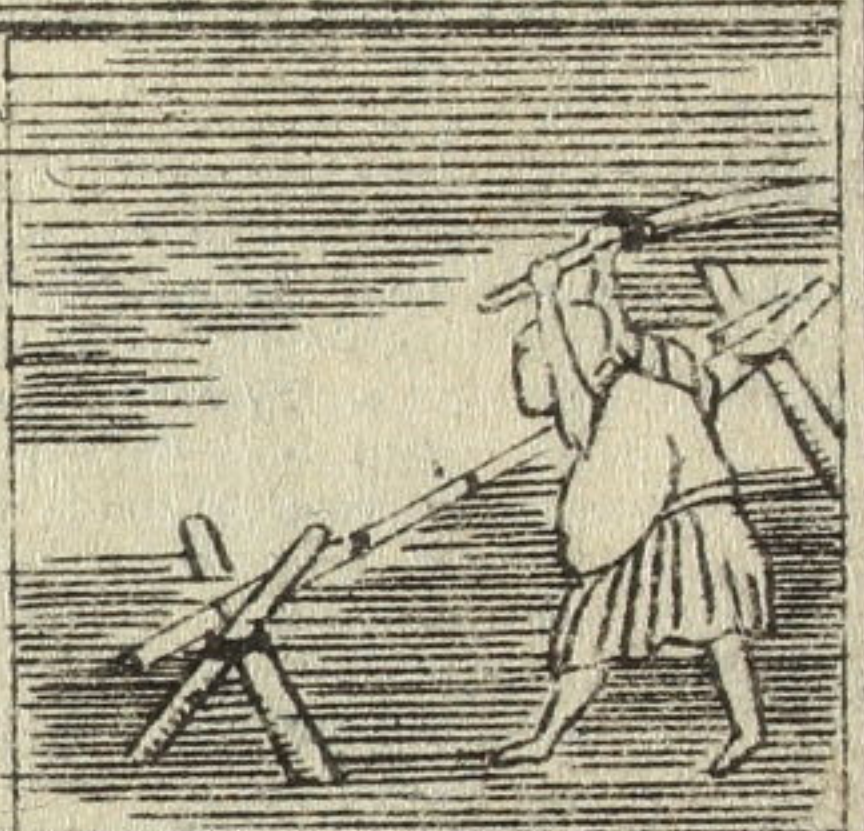
青麦

まの花

草つむ

萍初生ス

春



寺説白竹切具ハ
蓮華會トクコ中興
関山岨延和尚ノ此カ
タヲ大蛇段生ヲナス
送意具峯延ノ遠
忌會ノ役護法閑
鑑禎和尚ノ蛇ヲ救ヒ
テ護法神ト由縁法也

嚴島祭 十五日
座摩祭 廿二日

愛宕十日

天満御板

橋立祭

辛崎祭

御手洗詣

水無月能

住吉大祓

同火替

位ちをとく

鎮火祭

夏

のつまひりてを後宮
の吹入さしむふとまう
是を別のくしとす
くは是よりして伊せ
命宮の移り玉ふと
云ひぬ野宮の別と

山口祭 防州 中午

桂宮相僕

貴船祭

蕪馬祭

御香宮祭

生玉祭

醍醐祭

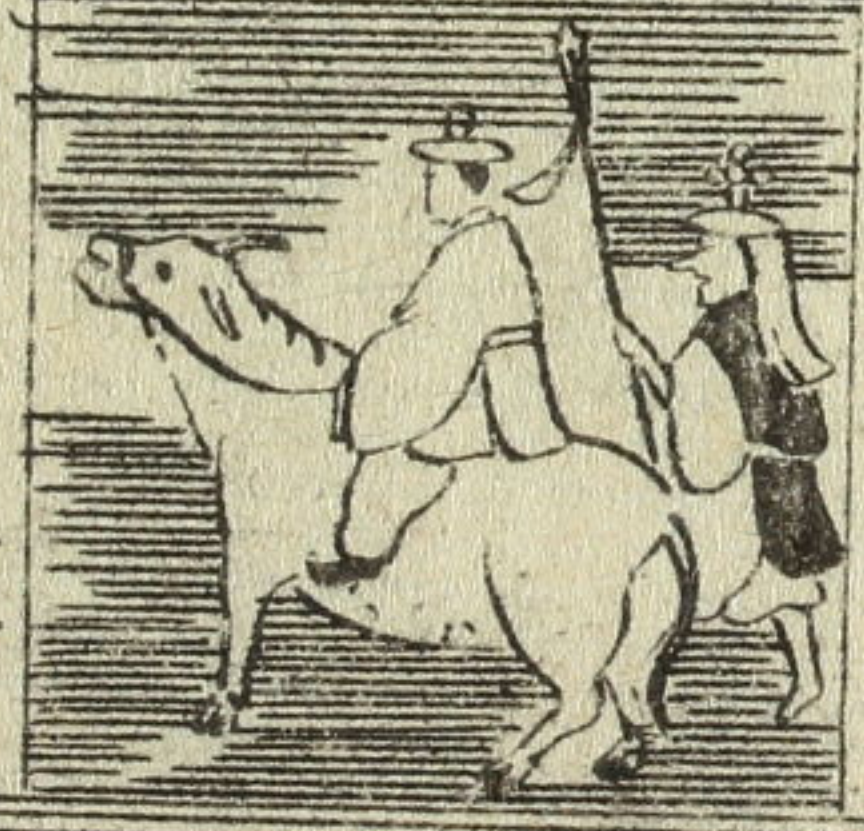
四宮祭

下鳥羽祭

五條天神祭

太恭

午祭



御難祭

秋

暮の月夕月

有明 法灯

縮 一夜酒

芦火 言月出

きぬと 虫の夢

あさね 残月

明てなまこ

人倫の詞

あさね 不及

非人倫詞

帝 太子

皇女 仙人

本院 新院

親王 門跡

大君 大名

一門 人間

奉行 地頭

代官 長老

和尚 坊官

某 凡夫

冬 五十

菊裁替

三葉芹

生るわ

雞合

呼子鳥

雲入鳥

鳥帰ル

鷹の巢

鶏の巢

郭公の巢



下部民の人

土を打て宮城

の四角まで祭

アリ大災を防

りんと免

白川祭 月

室の市 月

住吉相僕會 月

神田祭 月

岩倉祭 月

小倉祭 月

河内宮祭 月

岡崎祭 月

度會新嘗 月

俗 入道

民 百姓

大工 且那

私 田主居

時守 橋守

外料 本道

身 うらご

二人 三人

居所の詞

志すす

鳶の巢

田鼠化 鷄成

麥 鷄

若 鮎

小阿申 鮎汲

のふりあ申

柳葉魚

柳 鮎

櫻 鯛

雨 乞

大 枝 世日

其 枝 へ

夕 枝 へ

名 越 の 枝

阿 越 の 枝

み 越 の 枝

御 越 川

形 代

林宗庭ヨリ初稲ヲ我宮

西ノ宮ヲ至掌會ト御

即位後日本國中ノ神宮

御供ヲ奉ラセ至ラニ云

伊勢御遷宮 月

穴 織 祭 月

在 櫻 州 豊 嶋 郡 池

田 村 民 家 北 山 三 号

綾 羽 大 明 神 穴 織 祭 服

社 其 門 ツ ヲ カ 丁 在 縫

殿 寮 神 ト ナ ス 毎 年

九 月 十 七 日 十 八 日 西 社

祭 事 ト ス 神 衣 祭

ト 祐 ス

呉 服 祭 月

号 呉 服 大 明 神

神 縁 前 ヲ ヲ

非居所詞

社 寺

堂 皇居

内裏 伽藍

室のろ 築山

柱 市場

町 芝居

○衣類の詞

○非衣類詞

○五十一

冬

春

夏

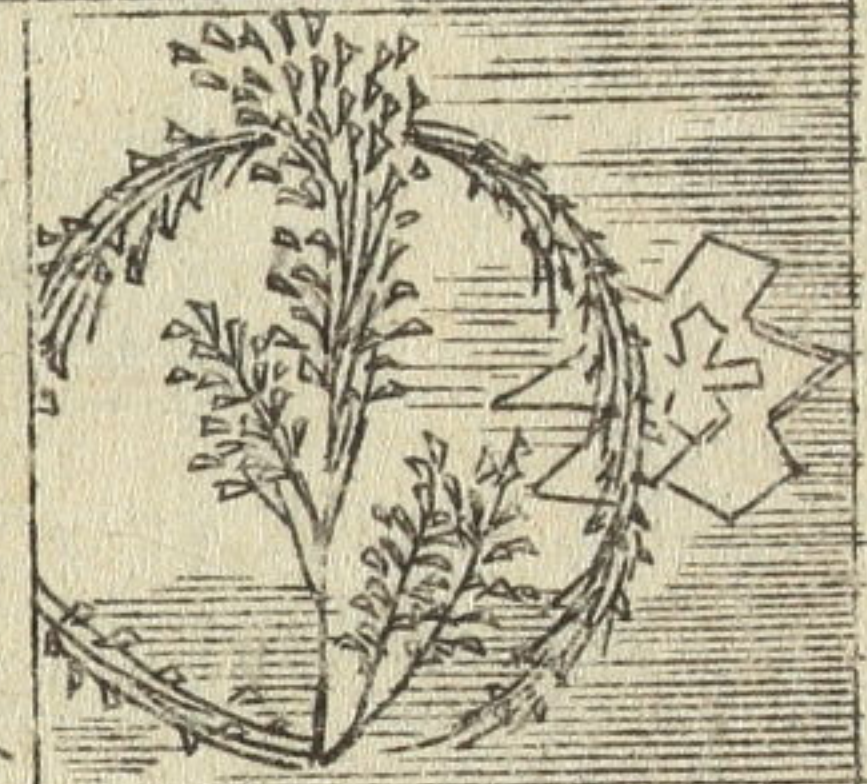
秋

冬

三 生類 ▲六 神祇 ▲九 神祇 ▲衣類

さくさく魚
さくさく麩
さくさく貝
蚕
かふこ 素子
黙つるむ
上 築
衣食類
菱 餅
蓬もち 母子もち

茅の輪
輪越の枝
あまのまき
麻の葉流ス
小蠅のまき神
たはまの蠅の如く
魚神のまき



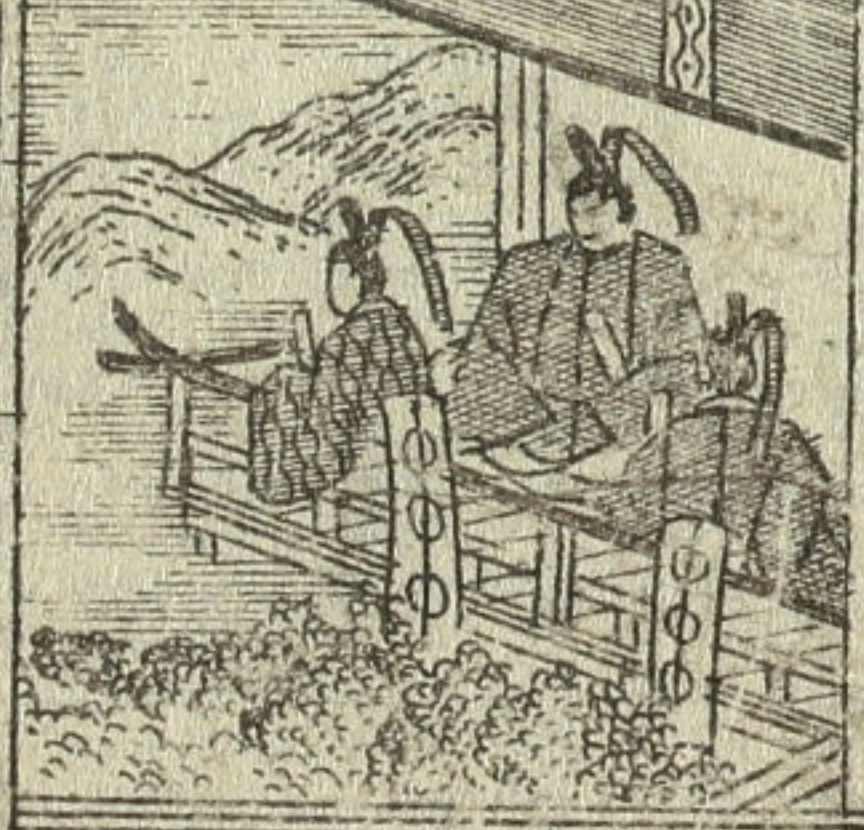
城南神祭 廿日
上難波祭 廿日
婆利女祭 廿日
八幡花頭 同
他 あり
座摩祭
淀 祭
逆髪祭
天満流鏝馬 廿五日
北山祭

直垂 狩衣
素襖 袴
奴袴 小忌衣
白張 浄衣
袷袢 上下
肩衣 十徳
水衣 居表
帯 頭巾
足袋 立付
股引 御半

桃の酒
茶の試
利茶 臭茶
櫻 衣
りら山吹 衣
須磨の枝
巳日 枝
経供養 二日
春

公事故支
醴酒供ス
忌日御飯
神今食
不浄の火残あり
申すやちり

津村祭 月
鳴瀧祭 廿八日
桂川御枝 十七日
住吉神送 廿日
公事故支
重陽の宴
秋



藤衣
禪
旅体之詞
門出 饞別
送別 本陣
乗掛 とめ女
出女 旅籠や
木賃 川留
宿取 問屋
馬借 跡付
冬 ○五十二

三 神 六 八事故支 九 八事故支 火体 風体

石山祭 三日

太神宮へ天子みづ
うく神供備へる
なり

菊花の宴
も度より群臣は
兼酒をたきふ
とたり

小荷駄 里塚

粟津祭 同

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

關札
火躰之詞

乘寺祭 五日

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

火躰之詞

水祭 九日

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

安良居花 十日

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

高雄法華會

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

吉野會式 十日

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

禮拜講 十日

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

壬生念佛 十日

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

一切經會 十日

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

善導尊忌

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

梅若祭 十五日

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

勸學會 月

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

嵯峨大念佛 月

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

淺草祭 十八日

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

人丸忌 月

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

比良祭 十五日

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

御身拭 十九日

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

南祭 中
午ヤハク

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

稻荷御出 月

御躰御卜 十日

例幣
伊勢大神宜と御
幣をまじりて
ふ 年のちり
る故例幣と奉
たり右例の例
幣の伏あり

燈火 煤

春

夏

秋

冬

五十三

節祈 廿日
節祈りの余賜
行をいさよ上の神
くけの寸法は
ふまにきりあり
ふまにきりあり
ふまにきりあり

雷鳴の陣
雷の居三層以上
なれは大将以下迄
雷の杯をきりて
杯をきりて
杯をきりて
杯をきりて

不堪田奏
むらさき田の候
毛浅天子へ奏
毛浅天子へ奏
毛浅天子へ奏
毛浅天子へ奏

施米
山寺の僧へ米
あを籠りあふ
あを籠りあふ
あを籠りあふ
あを籠りあふ

秋終
あけふ
不二の畑
浅草の畑
あけふ
あけふ

雲霞
霧 虹
雲 霞
霧 虹
雲 霞

煙
あけふ
不二の畑
浅草の畑
あけふ
あけふ

扇 風鈴
扇 風鈴
扇 風鈴
扇 風鈴

燈火 煤
燈火 煤
燈火 煤
燈火 煤

火鉢 火桶
火鉢 火桶
火鉢 火桶
火鉢 火桶

風体之詞
風体之詞
風体之詞
風体之詞

三 神祇

松尾御出

御影祭

高雄女詣

順峯入

千本念仏

鎮花祭

本志の死あつたころ疫神を敷く人殺なやまをくまらるる銭丸の巻ん為まこのおふり有ころや神祇首にてある

唯清明ニ取榆柳之火ヲ以テ賜ニ祈臣

杏 粥

寒食為太麥粥研杏仁為酪以之賜之

寒食餅

寒食以麵為餅餅樣團栗附之名ニ曰栗餅

桃花粥

金剛歲節ニ曰寒食裝萬花煮者桃花粥

春 終

踏 青

油 花 卜

鞞 麩

半仙のたのめ

あゝあゝ 食を食する心と身を食する心とを兼ねて女子其に人にすゝて

六十 耳順

六十一 還曆

七十 古稀

八十八 米字

下壽 六十

中壽 八十

上壽 百

追善 追悼

初願忌 初七

以芳忌 二七

寒 食

魏の民帝有り

榆柳の火

周禮言時嘗夏国火ヲ春取榆柳之火ヲ夏取栗之火ヲ秋取柞指之火ヲ冬取槐檀之火唐時

光善忌 三七 水忌 日 廷芳忌 四七 小練忌 五七 室明忌 日 且弘忌 六七 前全忌 日 大練忌 七十 幽田忌 日 卒突忌 日 小祥忌 一周 大祥忌 三周 起祥忌 七周 寂照忌 十三

七 種

春 佛坐

五形 酒代

秋 高萩

年 齢 初老 不蒸 和命 家校

慈明忌 四十七

闇良忌 四十五

清浄忌 四十二

本然忌 百四

十干

甲 乙

丙 丁

戊 己

庚 辛

壬 癸

●吉野の花 竹
くろくろく
右の正花 植物は三つ去たり

△徳義美の正花

●花の袖 衣紋
●花の顔 多々
●花の類 花ふ
●織物の花 花の類
●花二月多々
●夏の正花 花つと
●耐るふ花をむきふ

●花衣 衣紋

●忌の春 葉且
●年の花 月上

●花の姿 月上

●花ふ 凡客の故植物は三つ去

●花の類 植物は花類

●花二月多々

●夏の正花 花つと

●耐るふ花をむきふ

●花二月多々

△秋の正花

●花火 花ふ

●花の踊 月上

●花の正花 花ふ

●花の類 花ふ

●花の類 花ふ

●花の類 花ふ

●花の類 花ふ

●花の類 花ふ

△正花百韻

●花の字

●花の字

△花

表六句 五句月

裏十二 七句月

名十三 十句月

名十六句 五句月

右二折 花月三

四十四

表八句 七句月

裏十四 九句月

二十四 十三月

二八句 七句月

右二折 花月三

七十二候

表八句 七句月

裏十四 九句月

二十四 十三月

名十四 二句月

名十六句 七句月

右三折 花月三

源氏行

表六句 五句月

裏十二 七句月

名十三 十句月

名十六句 五句月

二七十二 初月

花は名所むすふ句 月上花二生終結ふ句 月上
 月花をむすふ句 八生二句の外申さる
 △正花はありさる 花のか
 花はちりし 花の色 花の子 打の花
 火花 香のた 六花花 浪のた
 茶の花年 かくし花 九花
 月花句能心得
 △秋花月の内 乃月の月 乃花の月
 夕月 香の月 九花終結ふ句
 三日月出 秋かすあはば三日月とまのり秋のか
 宵明ハ 秋のかあふ守るのとまのりハ秋のか
 明ゆる月 秋かすあはば明の月ハ秋かあり

名ヨ十二	二ノ二
名ウ六	五ノ花
右三折	花月三五
米	字
表八句	七ノ月
裏十二	七ノ月
二ノ十二	十ノ月
二ノ十二	初ノ月
三ノ十二	二ノ月
三ノ十二	二ノ月
名ヲ十二	三ノ月
名ウ八句	七ノ月

月の友 人倫 月の主 上ノ月
 月の友 人倫 あり 月の向ノト 月上
 月の宿 居ル 月を宿 居ル向ノト
 月の出汐 水辺 秋ノ 月の水 あり向ノト
 月の雪 あり 月のお 上ノ月
 月の桂 植地 あり 月は姨捨更科付べ
 姨捨更科 月付てこノク
 月おのむす 月折をこノク
 月おをむす 月折をこノク
 △月の異名 玉鬼 玉蟾 常依
 蟬蛾 桂影 水輪 水鏡
 金波 玄鬼 銀盞 水鏡

右四折	月七
易	花四
表八句	七ノ月
裏十二	七ノ月
二ノ十二	七ノ月
二ノ十二	初ノ月
名十二	二ノ月
名八句	七ノ月
右三折	月五
十八公	三ノ月
表十句	五ノ月
裏八句	七ノ月

- 桂男 侍霄 いざよひ 立侍
- 居侍 甘中 此夕夜今いらせむ面
- 春の月 籠月 月小付て用申
- 春の三日月 暮のまゝ 月小花結ゆ
- 月小まの糸相むすひとる勺ホク
- 夏の月 月涼し 明きき月
- 夏の霜夜 夏の景相結ひとる勺ホク
- 冬の月 水氷 さいり月
- 冬月 月寒 冬の景相結ひとる勺
- 物の月 真如の月 心の月
- 物の月 此夕月今付て 夜分ふりり寸
- 月の勺 百韻ハ八面付て二勺定べ

右一折	五十韻	百頁の二折	右二折	長歌行	表八勺	裏十六	名十六	名八勺	右二折	短歌行	表四勺
		花二	月四		七勺	十五月	十五月	七勺月	月三		朝

名所の裏は大方不細

- 月と月五勺去の折面をりへてハ
- 月子月次の月三勺去 月百星二勺去
- 月子弥生 きささらぎ けとごれ 志をす
- は類きまは余浄くしてべ

- △月子相きるし 月まよ 月毛の約
- 月償のこ 月輪寺 月の御雲
- 星月扱 月次の月
- 右月の字われが一面の月まふ用

裏八勺	名八勺	名四勺	右二折	千勺	百韻	発勺	春三勺	夏二勺	秋三勺	冬二勺	懐紙式終
					十巻	四季					

切字

切字の事

哉。わ。り。れ。た。り。め。り。お。そ。又。い。也。何。幾。さ。そ。や。が。
 つ。ん。あ。り。な。り。早。ぬ。向。ふ。然。か。り。間。り。り。
 ら。め。さ。き。た。き。い。ざ。い。り。ふ。い。り。い。り。で。い。づ。く。
 い。ろ。こ。い。ろ。ち。い。つ。い。ろ。き。な。と。な。ぞ。
 急。け。せ。て。ね。へ。め。き。よ。そ。下。知。こ。
 右の外子二字切。三字切。大也。！。を。お。い。り。三。路。
 切といふるあり。な。ふ。累。す。

五十字韻

あ	か	さ	た	な	ま	ま	や	ら	ゆ
い	き	し	ち	に	ひ	こ	あ	り	い
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	ゆ	が	う
え	け	せ	て	ぬ	へ	め	急	れ	え
れ	こ	そ	と	の	は	も	よ	ろ	を

假名のあやうわ
 上なる字は父字ハ云下ふなる字
 を母字といふ父字ハ登又文字は下
 ち体上下このよおのこみで横へ
 うごこのは
 母字ハ横十字のうちを合へくま
 ふのこみで登へうごこのは
 きまは横十字のうちふ父字母字
 ある時は母字ハ合へくまのものあ
 りば母字のりより父字のこへりまは

五十字韻

て父字をとりし字とり

又堅又字のうちふ父字母字有母父字上下へうごくものな
れバ父字のりくうり母字のすくひひて母字枝くや字とりや
又け^{父母}の及^{父母}父字堅のうちを上下へうごく物れバ母字の
るり横り通^{父母}いへうご

母字ハ父字のあふ堅へう行あやうふ^{父母}字^{父母}てけり^{父母}の及^{父母}
き。こ是をとりし^{父母}のきとよ

又停勢物^{父母}

當の^{父母}を^{父母}とめ^{父母}て^{父母}ふり^{父母}も^{父母}う^{父母}あ^{父母}め^{父母}る^{父母}人^{父母}ふ^{父母}き^{父母}せ^{父母}て^{父母}と^{父母}ま^{父母}ん
此^{父母}め^{父母}る^{父母}め^{父母}の^{父母}人^{父母}ふ^{父母}め^{父母}れる^{父母}人^{父母}こ^{父母}る^{父母}め^{父母}の^{父母}及^{父母}シ^{父母}や^{父母}な^{父母}り

芭蕉翁口授

夏ハ野山あう	冬ハ野山あう
春風ハ野山あう	春風ハさうりくあう
秋風ハ野山あう	夏月雨ハ降つきたる
夏ハ野山あう	秋の雨ハあまれある
秋風ハ野山あう	此やハ夜堂川あう
川喜ハ 登る川あう	浪書ハ喜あう
満此喜ハ 登る川あう	指相本ハ喜あう
	上弦ハ七月八月の月

芭蕉翁口授

草うりむきと雨成志野

草あひきて風と志野

花八粒ふけく

花八申あべふ咲

下弦八世二三根の月

法乐八寺社子とまきめ
此方まき多高ルをいふ

奉納八則寺社子祝る奉へ

